



広報

Public Relations Kyotango

きょうたんて

vol.104

主な内容

特集 決算 平成23年度

市政トピックス

・「幸福のまちづくり研究会」設立

・王立ブータン大シンレイ副総長らが表敬訪問

市政ガイド

京丹後市の台所事情⑪

ほか

2012 11月号
平成24年

10月25日発行

撮影場所：金刀比羅神社（峰山町泉）

◆一般会計歳入・歳出の状況◆

歳入は、市税や使用料など市が自主的に収入できる自主財源と地方交付税や国や府から交付される補助金などの依存財源に大別できます。それぞれの構成比は、依存財源が75・9割で全体の4分の3を占め、自主財源は24・1割で全体の4分の1です。

----- **自主財源は全体の24.1%** -----

自主財源は、1つは、自主財源の柱である市税などの減少によるものです。

歳入

一般会計 実質収支

一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は6億6947万円の黒字で、このうち24年度へ繰り越した事業に必要なお金8992万円を差し引いた実質収支は、5億7955万円の黒字となりました。

5億7千万円の黒字決算

平成23年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算認定議案を、9月定例会に提出し認定されました。一般会計の歳入総額は、337億7636万円(前年度比0・1割減)で、歳出総額は、331億689万円(前年度比0・5割増)となりました。23年度は、どのような事業や施策に予算が使われたのか、その概要をお知らせします。

歳出

性質別では、人件費などの義務的経費が全体の47・3割を占めています。福祉関係の扶助費や繰上償還実施による公債費が増加となっています。補助金や委託料など市が任意に支出できる経費は、歳出全体の38・4割となっています。

--- **大宮北保育所整備に8億7千万円** ---

物件費や小学校や保育所の仮設校舎などの借上経費が約1億5千万円の増加となっています。道路や河川、公園などの整備に要する投資的経費の割合は14・3割。大宮北保育所整備事業や内水処理対策事業などを実施しました。

◆一般会計決算の特徴◆



【総務費】 1億2,397万円
▶北近畿タンゴ鉄道利用促進対策事業(写真:利用促進シンポジウムを開催)



【商工費】 732万円
▶ジオパーク推進事業(写真:110*。ジオウォークで丹後町袖志の海岸を歩く間人中の生徒たち)



【民生費】 9億5,334万円
▶大宮北保育所整備事業(写真:整備された大宮北保育所)

市民の安心・安全を全力で確保

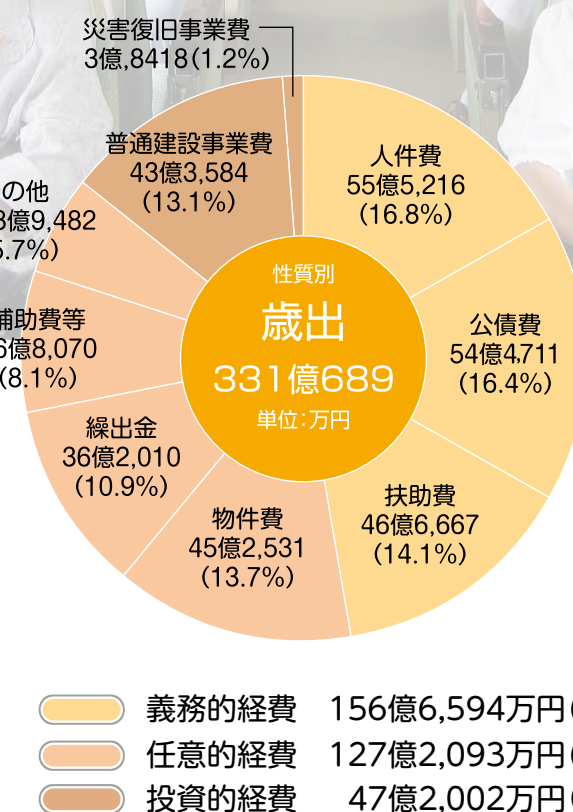
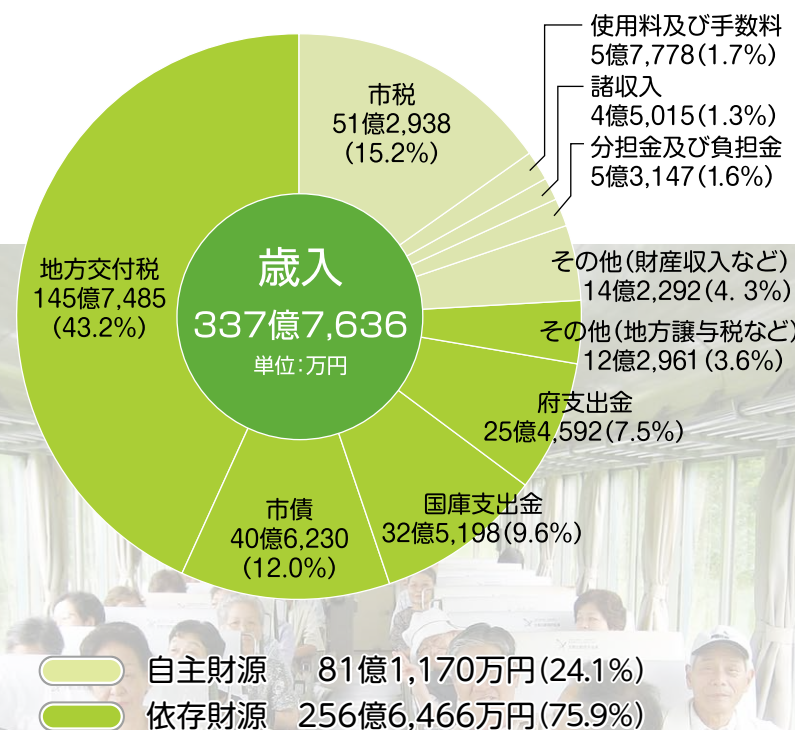
まちづくりの4つの柱を実施

平成23年度は、次の4つの柱に取り組みました。

- ▼市民の安心・安全な暮らしを確保するため、保育所整備や教育施設の耐震化、「くらし」と「しごと」の寄り添い支援センターの運営などを実施しました。
- ▼まちの未来開拓と未来を担う人を育む取り組みでは、山陰海岸ジオパークを核とした観光振興の推進や地域サポーターのモデル配置を実施しました。
- ▼KTRの利用促進に向け、高齢者片道上限200円乗車社会実験や住民参加型シンポジウムの開催などを実施しました。
- ▼財政の健全化については、合併特例措置通過減対策準備基金へ5億円の積立や市債残高の抑制に努めました。
- このほか、東日本大震災の被災地および被災者支援など幅広い分野で事業を実施しました。

特集 決算

平成 23 年度



目次 index

特集 決算 平成 23 年度	P 2
市政トピックス	P10
「幸福のまちづくり研究会」設立／王立ブータン大シシレイ副総長らが表敬訪問／ほか	
市政guide	P14
京丹後市の台所事情①／京丹後市の学校教育改革、「小中一貫教育」を柱に⑤／「リ・スタイル」でエコな暮らしを③ ほか	
まちのわだい	P 18
学校の手作り窯で陶芸品／ぶどう大福でまちおこし ほか	
京都府のひろば	P 20
健康だより	P 21
消防の広場	P 22
みんなの広場	P 24
京たんごスポーツ	P 26
生命の絆	P 27
情報ファイル	P 28
市の文化財／ジオトピックス／宮川優のたんご優遊見聞録／図書館だより／広報クイズ ほか	
京丹後人	P 32
「間人漁港の一年」を調べた 小谷 愛実さん	

“きもの”のある風景



◎今月号の表紙のテーマ
きもの姿で接客する女性

◎撮影場所・モデル
金刀比羅神社(峰山町)・梅田早知子さん(左から2番目)。

毎月第3日曜日に開催(冬季除く)の「こんぴら手づくり市」にて撮影。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

◆一般会計歳入・歳出の状況◆

歳入は、市税や使用料など市が自主的に収入できる自主財源と地方交付税や国や府から交付される補助金などの依存財源に大別されます。それぞれの構成比は、依存財源が75・9割で全体の4分の3を占め、自主財源は24・1割で全体の4分の1です。

----- **自主財源は全体の24.1%** -----

自主財源は、1つは、自主財源の柱である市税などの減少によるものです。

歳入

一般会計 実質収支

一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は6億6947万円の黒字で、このうち24年度へ繰り越した事業に必要なお金8992万円を差し引いた実質収支は、5億7955万円の黒字となりました。

5億7千万円の黒字決算

平成23年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算認定議案を、9月定例会に提出し認定されました。一般会計の歳入総額は、337億7636万円(前年度比0・1割減)で、歳出総額は、331億689万円(前年度比0・5割増)となりました。23年度は、どのような事業や施策に予算が使われたのか、その概要をお知らせします。

歳出

性質別では、人件費などの義務的経費が全体の47・3割を占めています。福祉関係の扶助費や繰上償還実施による公債費が増加となっています。補助金や委託料など市が任意に支出できる経費は、歳出全体の38・4割となっています。

--- **大宮北保育所整備に8億7千万円** ---

物件費や小学校や保育所の仮設校舎などの借上経費が約1億5千万円の増加となっています。道路や河川、公園などの整備に要する投資的経費の割合は14・3割。大宮北保育所整備事業や内水処理対策事業などを実施しました。

◆一般会計決算の特徴◆



【総務費】 1億2,397万円
▶北近畿タンゴ鉄道利用促進対策事業(写真:利用促進シンポジウムを開催)



【商工費】 732万円
▶ジオパーク推進事業(写真:110*。ジオウォークで丹後町袖志の海岸を歩く間人中の生徒たち)



【民生費】 9億5,334万円
▶大宮北保育所整備事業(写真:整備された大宮北保育所)

市民の安心・安全を全力で確保

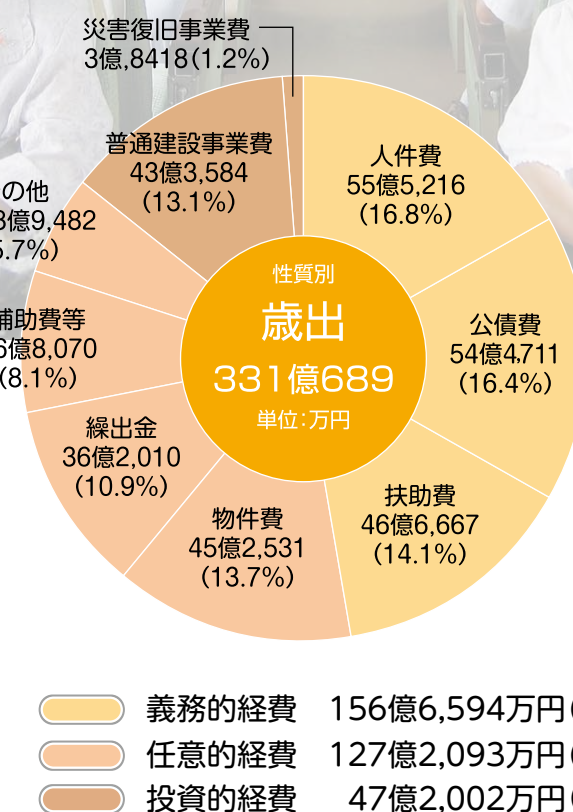
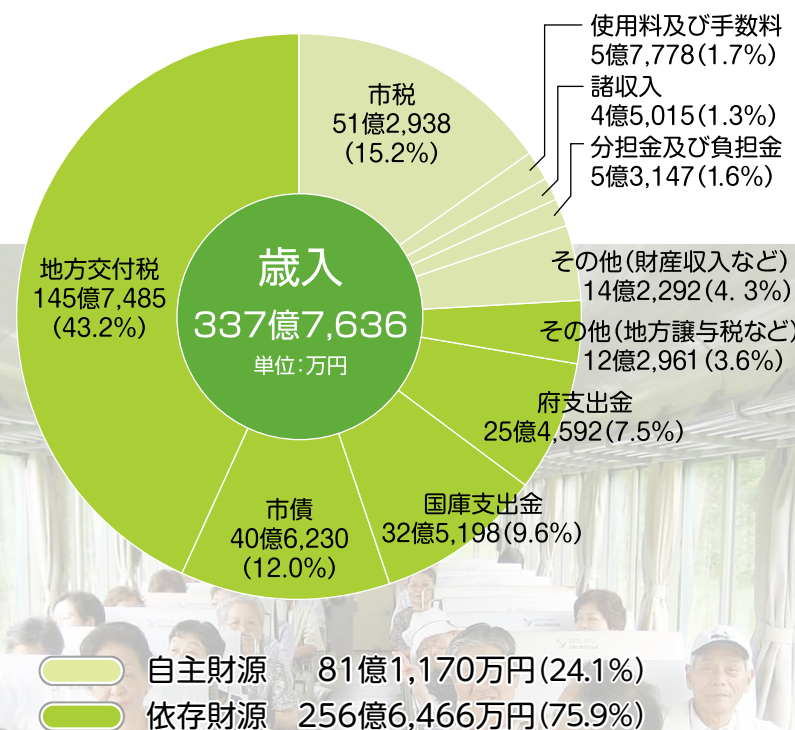
まちづくりの4つの柱を実施

平成23年度は、次の4つの柱に取り組みました。

- ▼市民の安心・安全な暮らしを確保するため、保育所整備や教育施設の耐震化、「くらし」と「しごと」の寄り添い支援センターの運営などを実施しました。
- ▼まちの未来開拓と未来を担う人を育む取り組みでは、山陰海岸ジオパークを核とした観光振興の推進や地域サポーターのモデル配置を実施しました。
- ▼KTRの利用促進に向け、高齢者片道上限200円乗車社会実験や住民参加型シンポジウムの開催などを実施しました。
- ▼財政の健全化については、合併特例措置通過減対策準備基金へ5億円の積立や市債残高の抑制に努めました。
- このほか、東日本大震災の被災地および被災者支援など幅広い分野で事業を実施しました。

特集 決算

平成 23 年度



目次 index

特集 決算 平成 23 年度	P 2
市政トピックス	P10
「幸福のまちづくり研究会」設立／王立ブータン大シシレイ副総長らが表敬訪問／ほか	
市政guide	P14
京丹後市の台所事情①／京丹後市の学校教育改革、「小中一貫教育」を柱に⑤／「リ・スタイル」でエコな暮らしを③ ほか	
まちのわだい	P 18
学校の手作り窯で陶芸品／ぶどう大福でまちおこし ほか	
京都府のひろば	P 20
健康だより	P 21
消防の広場	P 22
みんなの広場	P 24
京たんごスポーツ	P 26
生命の絆	P 27
情報ファイル	P 28
市の文化財／ジオトピックス／宮川優のたんご優遊見聞録／図書館だより／広報クイズ ほか	
京丹後人	P 32
「間人漁港の一年」を調べた 小谷 愛実さん	

“きもの”のある風景



◎今月号の表紙のテーマ
きもの姿で接客する女性

◎撮影場所・モデル
金刀比羅神社(峰山町)・梅田早知子さん(左から2番目)。
毎月第3日曜日に開催(冬季除く)の「こんぴら手づくり市」にて撮影。ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

◆一般会計歳出 目的別の主な歳出内容◆

※②＝平成22年度 伸率＝昨年度の歳出決算からの増加率

農林水産業費

14億3,688万円 (②16億5,766万円) 伸率 △13.3%



▶有機農業推進事業▶雪害支援緊急対策事業補助金▶農地・水・環境保全対策支援事業▶農村生産基盤整備事業▶海業推進事業▶地域水産物供給基盤整備事業 ほか

■農村6次産業推進事業 243万円

土木費

23億9,975万円 (②24億112万円) 伸率 △0.1%



▶市道維持補修事業▶道路新設改良事業▶橋梁長寿命化事業▶河川環境整備事業▶内水処理対策事業▶公共下水道事業特別会計繰出金 ほか

■除雪事業 4億2,611万円

消防費

12億644万円 (②11億6,123万円) 伸率 3.9%



▶救急活動業務▶防災行政無線維持管理事業▶全国女性消防操法大会出場事業▶消防団活動運営事業▶災害対策経費 ほか

■東日本大震災災害支援活動補助金 403万円

災害復旧費

3億7,503万円 (②2,742万円) 伸率 1,267.6%



▶農地・農業用施設災害復旧事業▶林業施設災害復旧事業▶公共土木施設災害復旧事業

■林道太鼓山線(丹後町) 2,614万円

公債費

54億4,712万円 (②53億779万円) 伸率 2.6%



▶借入金償還元金▶繰上償還元金▶借入金償還利子▶住民参加型市場公募債元利金支払手数料

■市債を活用したスクールバス

議会費

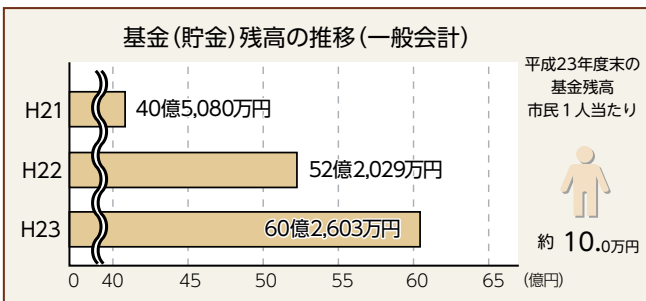
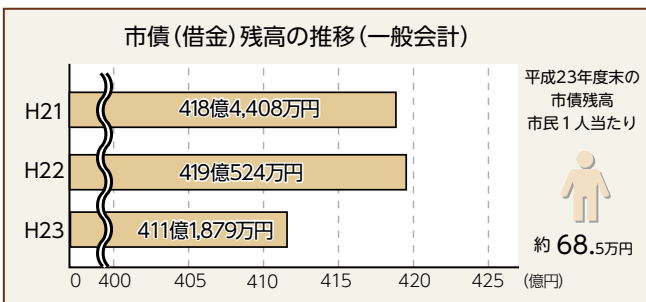
2億9,049万円 (②2億1,525万円) 伸率 35.0%



▶議会広報事業▶議員活動・議会渉外活動事業▶議員人件費▶議会一般経費 ほか

■議員活動・議会渉外活動事業(市民と議会の懇談会の様子) 264万円

◆市債(借金)と基金(貯金)の状況◆



※市民1人当たりの算出額は平成24年3月31日現在の人口6万70人を基準にしています。
※「通減」とは、数量が次第に減ること。

平成23年度末の一般会計市債(借金)残高は、411億1,879万円で、昨年度と比較して7億8,645万円(1.9%)の減少となりました。これを、市民1人当たりに換算すると68万5千円の金額となります。また一般会計の基金(貯金)残高は、60億2,603万円で、昨年度に比べ8億574万

円(15.4%)増加しています。これは、普通交付税の合併特例措置の通減による、急激な財源の減少に伴う市民サービスの低下を抑制するため、「合併特例措置通減対策準備基金」と合併特例債を活用した「地域振興基金」にそれぞれ5億円を積み立てたことによるものです。

通減対策基金などへ10億円

市民1人当たりの借金は約68万5千円

◆一般会計歳出 目的別の主な歳出内容◆

※②＝平成22年度 伸率＝昨年度の歳出決算からの増加率

民生費

101億6,635万円 (②92億3,546万円) 伸率 10.1%



▶大宮北保育所整備事業▶障害福祉サービス事業▶子ども医療給付費▶放課後児童健全育成事業▶子ども手当支給事業▶生活保護費支給事業▶保育運営委託料▶男女共同参画推進事業 ほか

■敬老祝い事業 2,754万円

衛生費

34億5,378万円 (②34億3,413万円) 伸率 0.6%



▶自殺予防対策事業▶総合検診事業▶火葬場建設計画推進事業▶地域バイオマス利活用推進事業▶水洗化推進支援事業補助金▶峰山フリースセンター管理運営事業▶し尿収集事業 ほか

■健康づくり推進員活動事業 172万円

教育費

29億4,316万円 (②20億9,314万円) 伸率 40.6%

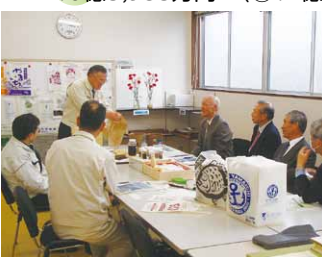


▶学校再配置推進事業▶小・中学校幼稚園施設耐震化事業▶スクールサポーター等設置事業▶図書館管理運営事業▶学校支援地域本部事業▶市史編さん事業▶体育施設管理運営事業 ほか

■小学校施設耐震化事業 6億5,246万円

商工費

10億3,953万円 (②12億2,217万円) 伸率 △14.9%



▶商工会助成事業▶商工業経営安定利子補給金▶信用保証料補助金▶観光協会活動補助金▶インバウンド推進事業▶観光の魅力づくり推進事業補助金 ほか

■地域産業経営革新等対策事業 846万円

総務費

41億3,310万円 (②59億9,703万円) 伸率 △31.1%



■ブロードバンドネットワーク運営事業(ケーブルテレビ取材) 3億5,020万円



■国民文化祭開催事業(シルクファッションフェスティバル) 700万円



■集会施設整備費補助金 2,306万円



■地方バス路線運行維持対策補助金 6,843万円

▶合併特例措置通減対策準備基金積立金▶広報広聴事業▶地域振興交付金▶市民相談事業▶市民協働のまちづくり事業補助金▶北近畿タング鉄道利用促進対策事業▶市税等賦課事務▶住民基本台帳ネットワーク運用事業 ほか

歳出 1億7900万円の増

民生費と教育費は大幅増加

歳出を目的別でみると、福祉関係経費の多い民生費が全体の約3割を占め、地域振興などの総務費、健康管理や廃棄物処理などの衛生費で全体の半分以上を占めています。昨年度と比較すると、総務費では、ブロードバンドネットワーク整備事業などの減で18億6千万円(31.1%)と大きく減少しています。また、農林水産業費でも、クライ

ガルテン整備事業の減などにより、2億2千万円(13.3%)の減少となっています。一方、民生費では、大宮北保育所整備事業などにより9億3千万円(10.1%)の増、教育費でも、小・中学校の耐震化事業などにより8億5千万円(40.6%)の増となっています。歳出全体では、1億7900万円(0.5%)の増加となりました。

労働費

2億1,526万円 (②1億7,549万円) 伸率 22.7%



▶中小企業緊急雇用安定助成金▶シルバー人材センター運営費補助金▶地域雇用環境整備特別対策事業

■くらしとしごと寄り添い支援事業 2,693万円

歳入・歳出の財政状況(割合)

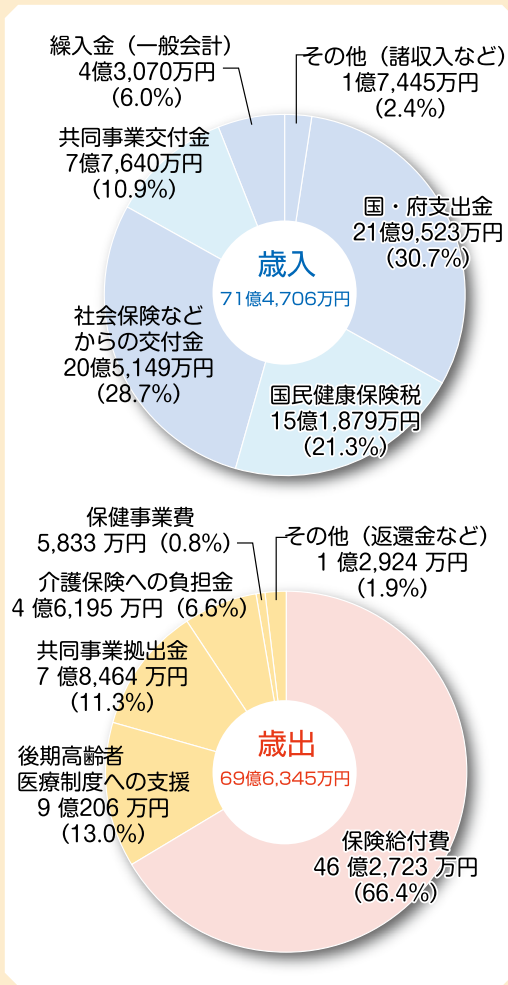


図 保険給付費と1人当たりの医療費

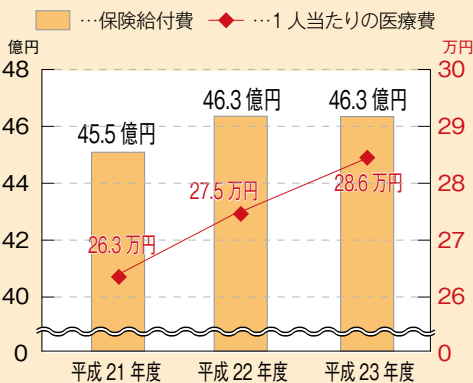


図 69-0220 保険事業課

DATA 保険税・医療費を被保険者1人あたりに換算すると…				
医療費(支出)	H22	274,593円	前年度比	11,102円の増
	H23	285,695円		
保険税(収入)	H22	76,768円	前年度比	2,721円の増
	H23	79,489円		

京丹後市の国保加入者(平成24年9月30日現在) 世帯数:10,080 世帯、被保険者数:18,857人

きょうたんこ 国保だより

実質的な単年度収支、2442万円の黒字

1人当たりの医療費は28万6千円

平成23年度 国保会計決算

非常に厳しい国保財政

平成23年度国民健康保険事業特別会計の決算は、歳入71億4706万円、歳出69億6345万円、歳入歳出の差し引き額は1億8361万円の黒字となりました。

決算の状況

財政運営は、引き続き厳しい状況が続くものと予測されます。

歳入歳出ともに前年度を大きく下回る決算となりました。前年度と比べると、歳入は1億7917万円の減収となりました。歳出は2億359万円を削減することができました。

国民健康保険税と保険給付の状況

国民健康保険税は、京都地方税機構の徴収努力もあり、

医療費の適正化を推進

医療費は、今後も増加傾向が続くことが見込まれ、国保財政を圧迫するものと予測されます。

市では引き続き、医療費請求の審査の強化や後発(ジェネリック)医薬品の普及促進、資格管理を適正に行うことなど医療費の適正化をより一層推進し、安定的な国保財政の運営に努めていきます。

◆特別会計・企業会計の決算概要◆

単位：万円				
	会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	収支差引額
特別会計	国民健康保険事業	71億 4,706	69億 6,345	1億 8,361
	国民健康保険直営診療所事業	4億 509	3億 9,868	641
	後期高齢者医療事業	5億 7,843	5億 7,267	576
	介護保険事業	52億 204	51億 4,353	5,851
	介護サービス事業	6億 5,671	6億 4,894	777
	簡易水道事業	12億 1,071	11億 3,650	7,421
	集落排水事業	5億 2,241	5億 1,097	1,144
	公共下水道事業	25億 5,372	25億 392	4,980
	浄化槽整備事業	1億 9,209	1億 8,013	1,196
	工業用地造成事業	1億 8,823	1億 8,562	261
	宅地造成事業	3,569	4	3,565
	峰山財産区	681	13	668
	五箇財産区	200	10	190
(参考) 合計	187億 99	182億 4,468	4億 5,631	

会計名			収 入	支 出	収支差引額
企業 会計	水道事業	収益的(収支)	6 億 2,978	6 億 3,729	△ 751
		資本的(収支)	3 億 1,278	4 億 9,214	△ 1 億 7,936
	病院事業	収益的(収支)	60 億 5,982	58 億 2,667	2 億 3,315
		資本的(収支)	4 億 1,938	7 億 4,361	△ 3 億 2,423

※収益的(収支):営業活動などに伴う収支

※資本的(収支):建設改良事業などに伴う収支

◆財政健全化にむけて◆

未収金は10億円超

京丹後市が丸となる必要がある

一般会計と特別会計を合わせた未収金の総額は、約10億7千万円で、昨年度につづき10億円を超えています。負担の公平性、財政の健全化の観点からも、未収金の解消に向けた取り組みをより積極的に推進します。

間が平成31年まで5年間延長されたものの、多くの行政課題の中で、将来を見据え限りある財源を効果的に配分し、本市の発展に向け、京丹後市が丸となり取り組んでいく必要があります。

◆財政健全化判断比率の状況◆

財政健全化判断指標はすべて「基準内」

前年度数値よりも改善

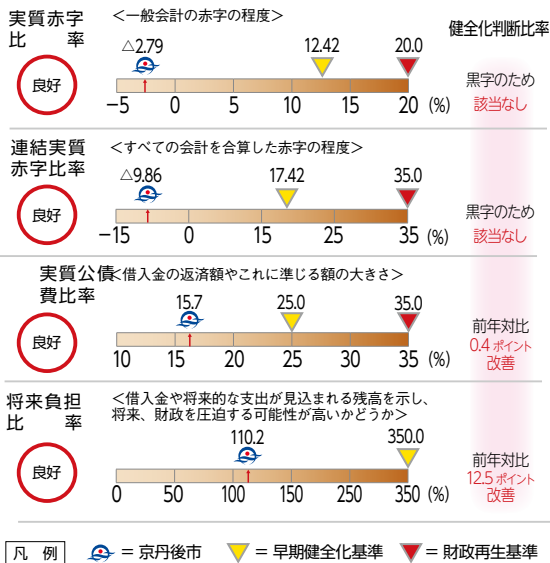
平成19年6月施行の「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により財政指標の公表が義務付けられました。

この法律は、地方自治体の財政の健全度を表す指標において、「早期健全化基準」または「財政再生基準」を超えると、財政健全化計画を策定することが義務付けられているもので

す。

本市では、昨年度に引き続き基準となる4つの指標のいずれの数値も、健全化判断比率の基準内で、前年度数値よりも改善した決算となりました。

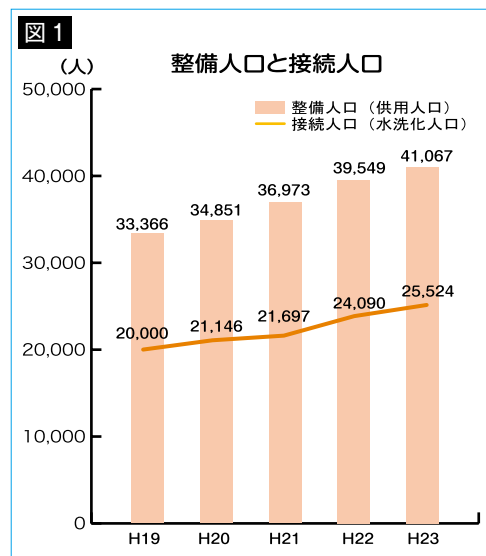
しかし、依然として厳しい財政状況には変わりありませんので、健全な財政運営に引き続き努めていく必要があります。



凡例: 京丹後市 (青丸), 早期健全化基準 (黄三角), 財政再生基準 (赤三角)



▲久美浜町佐濃南地区の農業集落排水処理施設



人の増加で接続率も2・3割の上昇にとどまっています。市では、公共下水道の接続率向上のため、下水道普及推進員による戸別訪問などを行い接続

下水道に接続されると、水洗トイレによる生活改善と、台所や風呂などからの生活排水が処理されることで公共用水域の水質保全に寄与することとなります。公共下水道や集落排水が供用開始となっている区域の未接続の方は、早期の接続をお願いします。

図 下水道整備課
☎ 69-0550

平成 23 年度 主要事業
久美浜町佐濃南処理区（写真）の整備工事が完了し、集落排水事業区域の全域で整備が完了しました。公共下水道事業では、網野浄化センターの第1期建設工事が完了するとともに、管渠9・6㌔の下水道管を布設し、新たに39・6㌔が供用開始となりました。また浄化槽整備事業では、88基の浄化槽を整備しました。

下水道3会計を合計した平成23年度の決算額は、歳入32億6822万円、歳出31億9502万円となり、繰越財源1385万円を差し引いた実質収支は5935万円の黒字となりました。

これは一般会計から、基準以上の繰入金があるため黒字となったものです。

が賄えていないのが現状で、下水道の利用者を増やすことが課題となっています。

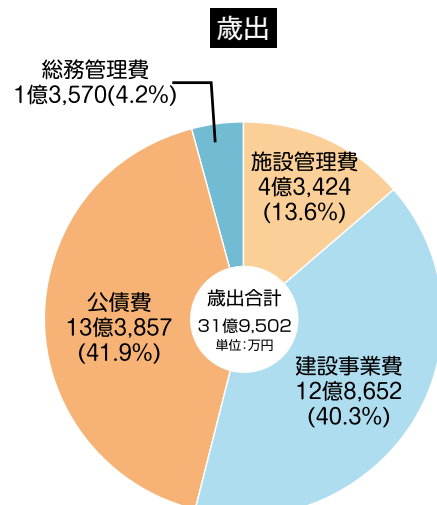
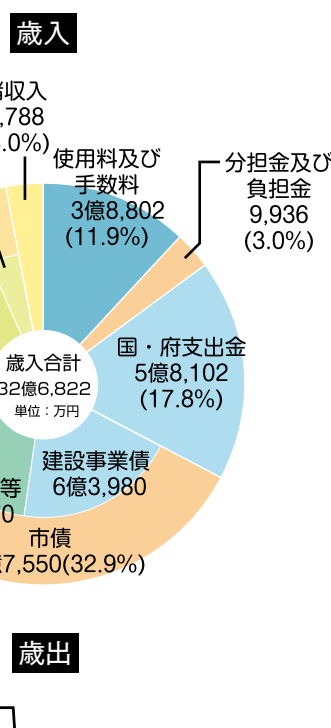
の推進に努めています。なお、平成24年度からは排水設備アドバイザー派遣や浄化槽から下水道に接続した場合の使用料減額制度など、新規の接続支援策を実施しています。

快適な暮らしを目指して

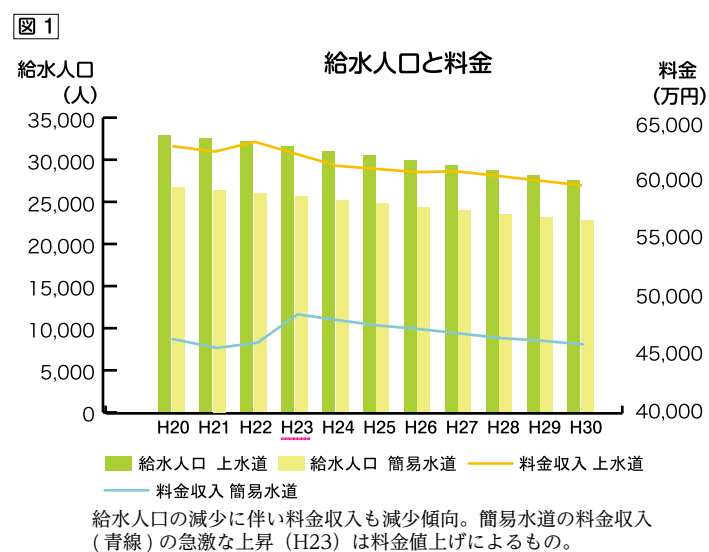
資本費平準化債とは
下水道事業は、初めに多額の設備投資が必要にもかかわらず、利用する世帯は後から徐々に増える事業のため、施設の耐用年数を踏まえた上で、最初に借り入れた地方債の返済財源として発行できる地方債。

下水道3会計
5935万円の黒字

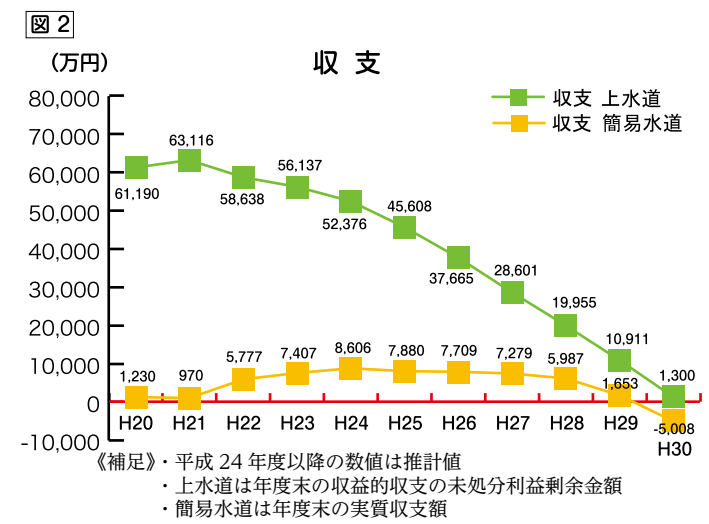
下水道会計の当面の課題は利用者増



H 23 下水道事業決算



給水人口の減少に伴い料金収入も減少傾向。簡易水道の料金収入（青線）の急激な上昇（H23）は料金値上げによるもの。



《補足》・平成24年度以降の数値は推計値
・上水道は年度末の収益的収支の未処分利益剰余金額
・簡易水道は年度末の実質収支額

平成 23 年度 主要事業

上水道では、丹後町荒木野浄水場の水源新設、大宮町の善王寺浄水場と大野池浄水場の統合整備（写真）、網野町掛津地内の老朽管布設替を実施しました。

簡易水道では、久美浜東部簡易水道佐野甲配水池の新設、久美浜町神谷地区、口馬地地区の老朽管布設替を実施しました。

図 水道整備課
☎ 69-0580

安定給水の確保と収支の改善策

平成28年度には、簡易水道と上水道をひとつの水道事業として経営統合することとしており、給水人口の

減少を見据えた給水区域の見直し、施設の統廃合事業の実施による安定給水の確保と浄水場の数を減らすことなどによる経費の削減に努めていきます。



▲整備中の大宮町善王寺の浄水場

市の水道事業は、水道利用者の55割の皆さんにご利用いただいている上水道事業と45割の皆さんにご利用

上水道事業が単年度収支で赤字

いただいている簡易水道事業をそれぞれの特別会計で経営しています。

平成23年度の決算は、簡易水道事業では4月からの水道料金の値上げにより水道料金収入が前年度と比べて4356万円増加し、7407万円の黒字となりました。

水道事業の今後の収支見込み
簡易水道、上水道事業の経営悪化の共通する原因は、給水人口の減少に伴う料金収入の減少（図1）が大きな要因となっているため、毎年の収支の悪化は続き、簡易水道事業、上水道事業とも平成30年頃には累積赤字になると予想されます。（図2）



▲豊岡市、京丹後市の幹部職員らが両市の取り組み状況を報告し、意見交換（久美浜市民局）

会議は、豊岡市の中具市長、本市の中山市長をはじめ両市の幹部職員ら26人が出席し行われた。今回のテーマのひとつ、「再生可能エネルギーの普及推進」では、本市がバイオガス発電の利活用について、豊岡市がメガソーラー発電事業について報告。取り組み状況や費用対効果について説明しました。

両市がともに再生可能エネルギー事業に力を入れていることから、今後も互いに情報交換しながら同事業を進展させていくことを確認しました。

また、昨年度の同会議で両市が共同宣言を行った「コウノトリもすめるさとづくり」に関して、「コウノトリと共生するまちづくりネットワーク京丹後」の取り組みを野村重

兵庫県豊岡市と京丹後市が連携し、丹後・但馬地域の発展を目指すための「豊岡市・京丹後市合同会議」が10月9日、久美浜市民局で開かれました。7回目となった今回の会議では、災害時の相互応援協定や公共交通の利用促進、再生可能エネルギーなど8項目について両市の取り組み状況の報告や意見交換が行われました。

広域連携

再生可能エネルギーの推進など意見交換

豊岡、京丹後の発展目指し合同会議

嘉代表が報告。

コウノトリがすめる環境づくりのため実践している冬季湛水や低農薬栽培について、コウノトリのペア「八べえ」と「コウちゃん」の営巣と子育て姿の映像を交えて紹介。「この取り組みをよりいっそう進めていきたい」と話しました。

虐待に気付いたら速やかに通報を

福祉

障害者虐待防止法が施行

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（障害者虐待防止法）が平成24年10月1日から施行されています。虐待の禁止、予防によって、障害者の権利利益を擁護することを目的としています。

同法で「虐待」は、「身体的虐待」「放棄・ネグレクト」「心理的虐待」「性的虐待」「経済的虐待」の5つに定義づけされており、家族など養護者による虐待、福祉施設の従業員など障害者福祉施設従事者等による虐待、雇い主など使用者による虐待を禁止しています。

また、「虐待の発見者は、速やかに市に通報しなければならない」と規定。発見者に通報義務を課すことによって、早期対応や支援が可能となり、虐待されている障害者の保護や、虐待に関して家族や職場などが抱える問題に対応できることが期待されています。

同法の施行を受け、市でも、障害者の安定した生活や社会参加のために、「虐待の防止や早期発見」「迅速な対応」「障害者や養護者への適切な支援」の強化を図っていくこととしています。

通報者の情報や通報の内容など、秘密は守られますので、障害者への虐待に気付いたり、その疑いがある場合には、障害者福祉課へご連絡ください。

図 障害者福祉課
☎ 69-0320



「デマンド監視」や「ノー残業デー」導入

節電

電気使用量21.6%減

市が関西電力㈱の節電要請を受けて、7月2日から9月7日までに取り組んだ庁舎など（※）の節電対策の実績がまとまりました。この期間の電力使用量は、目標として設定していた「平成22年の同時期比18.6%減」を上回る21.6%の削減を達成しました。

市では、冷房温度の29度設定や照明の間引き点灯など、昨年と同様の節電対策に加え、新たに庁舎の電力使用量を監視する「デマンド監視システム」を導入。また、水曜日のノー残業デーに加えて金曜日にもノー残業デーとする「第2ノー残業デー」を設定し、節電に努めました。

ご来庁の皆さまには、節電対策にご協力いただきありがとうございました。

※6庁舎、ら・ぽーと及び峰山総合福祉センター

～市民総幸福の最大化を目指して～
幸福のまちづくり研究会



▲幸福のまちづくり研究会の様子

市では、10月5日「市民総幸福の最大化」を目指したまちづくりに向け、「幸福のまちづくり研究会」（山内直人座長）を設立しました。研究会では、市民が幸福を感じるモノ、コトやその最大化のあり方などについて調査・研究を行います。

まちづくり

市民総幸福の最大化を目指して

山内直人大阪大学教授を座長に迎え「幸福のまちづくり研究会」設立

研究会は、内閣府の「幸福度に関する研究会」でも座長を務めた山内直人大阪大学教授を座長に迎え、学識経験者、市内の商工、福祉、教育関連団体および行政で構成しています。

研究会の設立に先立ち、中山市長が「本市の素晴らしい特色や環境、心の豊かさをはじめ、さまざまな価値観、幸福感などについて調査研究を行い、客観的に指標化に努め、市民総幸福のまちづくりを目指したい」とあいさつしました。

研究会では、山内教授が幸福度に関する研究事例を報告。▽健康が幸福度に大きく影響する▽所得は幸福度と比例しない▽失業経験があると、現に就職してい

ても幸福感が低い▽幸福感は、他人との比較よりも、自分の理想や将来への期待や不安と比較して考える傾向があることなどを紹介しました。

その上で山内教授は、「幸福度の捉え方は地域特性によって異なるため、各地域に応じて検討しなければならぬ。そのためには、住民による積極的な議論への参加の機会も作る必要がある」と話しました。

研究会では、そのほか今後の研究スケジュールを協議。平成27年度からの第2次京丹後市総合計画の策定を見据えながら、研究成果を反映できるように、段階的に4つの具体的計画を策定。来年度中に「幸福度に関するアンケート調査」を実施することや、26年に掛けて総幸福度の指標とする項目を検討することなどが話されました。

王立ブータン大シンレイ副総長らが表敬訪問

まちづくり

“幸福”について意見交わす

王立ブータン大学のペマ・シンレイ副総長をはじめとする大学関係者らが9月27日、京都大学ブータン友好プログラム（代表：松沢哲郎教授）の一環で本市を表敬訪問し、中山市長らと意見交換を行いました。

ブータン国が課題としている農村開発問題と、本市の新たな施策「市民総幸福のまちづくり」に関して、質疑応答。

本市から「GNH（※）の国づくり」について質問を受けたシンレイ副総長は、「幸福は個人的なもので一般化することは難しい。そのため、ブータン国では4つの柱（“経済”＝最低限の所得、“環境”＝海・山・田畑などの自然、“文化”＝人とのつながりを持つセレモニーや祭、“ガバナンス”＝よい政治、行政）に基づき、国づくりを進めている」「幼いころから『幸福とは何か』を教育していくこと、『あるものに感謝すること』もとても大事なことだ」などと回答しました。

また、ブータン国の農村部で生じている人口減少に対す



▲GNHの国づくりについて説明するシンレイ副総長（左）

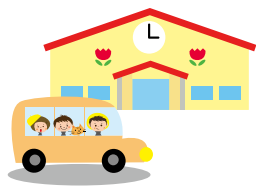
る対策については、本市農政課が回答。丹後町袖志の棚田保全や農家民泊などの活動を紹介しました。

最後に、シンレイ副総長が「今回の訪問をきっかけに、お互いが学びあい、交流ができるようになったらうれしい」とあいさつ。交流の発展が期待されるものとなりました。

※ブータン国が提唱する、国民全体の幸福度を示す尺度。GNH（グロス・ナショナル・ハピネス）＝国民総幸福量。国家の施策にGNHを取り入れていることから、世界的に注目されている



▶川崎市にオープンした地産都消型の農産物直売チェーン店「わくわく広場」でショッピングを楽しむ買物客



平成26年度中の開所を目指し、統合保育所の整備に着手します。両保育所を建設するための実施設計や用地買収を行います。

▲1億9280万円

小・中学校の再配置に伴いスクールバスを購入します。

大宮第二小（平成25年4月から大宮南小）に2台、久美浜中に6台配置します。

補正予算

補正予算5億8649万円の追加

財政

峰山及び久美浜統合保育所の整備に1億9280万円

平成24年一般会計補正予算（第2号、第3号）が9月定例市議会本会議で成立しました。第2号の補正額は「小・中学校スクールバス購入経費」など早期に事業着手を図る必要のあるもので、6870万円。第3号の補正額は、「峰山及び久美浜統合保育所整備経費」や「再生可能エネルギー事業化検討経費」など5億1779万円。補正後の一般会計の予算総額は322億627万円となっています。

小・中学校スクールバス購入経費（第2号）

▼5439万円

京丹後産品市場開拓トライアル事業補助金（第3号）

▼250万円

首都圏における京丹後産品の知名度向上と持続可能な市場の開拓を目指す「公益財団法人丹後地域地場産業振興センター（アミティ丹後）」の取り組みを支援します。神奈川県川崎市にある地産都消型農産物直売チェーン店で地場産品を販売し、京丹後ブランドをPRします。

再生可能エネルギー事業化検討経費（第3号）

▼402万円

地域主導型の再生可能エネルギーの事業化に向けて、市内にあるエネルギー資源の量に関する調査や、市民や事業者を対象とした導入の意向調査を行います。

環境

シンポジウムや事業化セミナーに140人が参加

再生可能エネルギーで地域づくり

太陽光や風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーをテーマにしたシンポジウム「地域エネルギーで創る京丹後の元気」と、同シンポに続く事業化セミナー「再生可能エネルギーの地域展開」がこのほど開かれ、延べ約140人が参加しました。両会合では、再生可能エネルギーに関する先進事例が紹介されたほか、本市における再生可能エネルギーの導入の可能性などが話されました。

雇用創出に期待

シンポジウム「地域エネルギーで創る京丹後の元気」は9月23日にアミティ丹後（網野町）で開催。NPO法人環境エネルギー政策研究所（ISEP）の飯田哲也所長による「再生可能エネルギーの地域展開」と題した基調講演や、（株）日進製作所の山岡経



▲再生可能エネルギーについて話す飯田さん（右）

エネルギー「使う」から「作る」へ

セミナー「再生可能エネルギーの地域展開」は10月14日、ら・ぽーと（網野町）で開催。ISEP研究員の古屋将太さんと同技術士の吉岡剛さんが、国内外で行われている再生可能エネルギー事業の先進事例を紹介しながら、その仕組みや地域が取り組む必要性を解説しました。古屋さんは、デンマーク

事業化に向け具体的に検討

セミナー「再生可能エネルギーの地域展開」の2回目は、11月11日にら・ぽーとで開催。専門家や市内の事業者などによる再生可能エネルギー事業化に向けた検討を行います。

KTR沿線の「まち歩きマップ」も発刊

まちづくり

高齢者片道200円レール



市では、10月1日から「乗って歩いて健康長寿、乗って歩いて地域活性化」のテーマのもと、KTRの利用促進を図るため、65歳以上の方が往復400円でKTRを利用できる「片道200円レール」事業に取り組んでいます。行楽シーズンの今、家族や友人と一緒にKTRを利用し、沿線のまちの魅力の再発見に出掛けてみませんか。ご利用の際は、市内全戸に配布している片道200円レールのパンフレット（右下写真）をご覧ください、付属の「片道200円乗車きっぷ」に必要事項をご記入の上、駅にお持ちください。なお、65歳以上であることを証明する身分証が必要となります。詳しくは、パンフレットをご覧ください。企画政策課（☎69-0120）へお問い合わせください。



◀「片道200円レール」を使って着物のイベントに参加した市内の女性たち
▶「片道200円レール」のパンフレットと「まち歩きマップ」

人権

法務大臣から委嘱

人権擁護委員に5氏

人権擁護委員の任期満了に伴い、5人の方に法務大臣の委嘱状が京都地方法務局京丹後支局の塩見勝博支局長から手渡されました。委嘱を受けたのは、中江香代子さん（丹後町徳光）、永井ゆみ子さん（久美浜町栄町）、吉田範充さん（峰山町新治）、安達徳一さん（久美浜町口馬地）、井上宗円さん（久美浜町湊宮）です。任期は、今年10月1日から3年間です。

人権擁護委員は、毎週木曜日の人権相談や法律・人権・行政合同相談、人権の花運動などの活動を行っています。



（新任）中江 香代子さん



（新任）永井 ゆみ子さん



（再任）吉田 範充さん



（再任）安達 徳一さん



（再任）井上 宗円さん



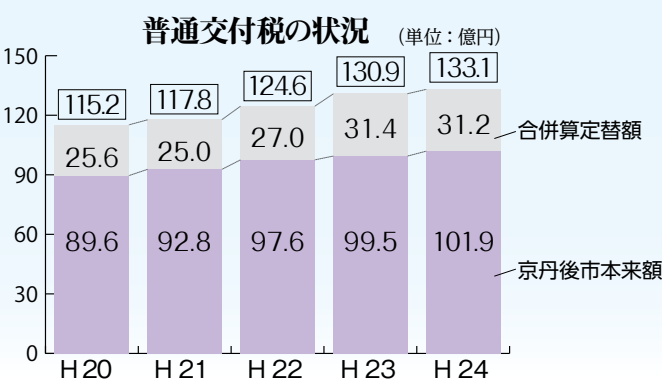
「網野中駅伝教室」(島津小グラウンド)

問 地域、市の歴史や文化、産業などを体系的に探究・体験したり、地域の人から教わったりする学習活動を行います。小学校低学年から実施し、自分の将来やより良い生き方を考える学習へとつなげます。各学年の学習内容や学習時間は、現在、教育委員会では検討しています。地域の教育環境づくりを進めるため、家庭や地域社会が協力できることはありますか。

答 中学校区を単位として、学校、保護者、地域が連携・協働する組織の設置を検討しています。また全市域で実施している「学校支援ボランティア」については、市民が学校教育活動を積極的に支援する仕組みを整えるため、より一層の内容充実を図ることとしています。これらを基盤として、放課後などに子どもたちが学習や体験できる機会の充実に向けた取り組みを市

進む連携
市内で、幼稚園・保育園・小・中学校
「網野中学校区」
島津小学校は10月1日、網野中学校駅伝部員を招いた「駅伝教室」を開き、児童が走り方や練習方法を学びました。
同小が「小学校駅伝競走大会」(10月27日開催)出場を前に、中学生とのスポーツ交流活動を通じて児童の走ることへの興味や意欲を高

めようと実施したものです。教室には5、6年生が参加。グループに分かれて、腕の振り方などのトレーニングに熱心に取り組みました。児童たちは「中学生のアドバイスはとても分かりやすかった。また教えてほしい」などと話し、充実した表情を見せていました。



成32年度からは本市本来の額になります(右下グラフ)。
減少幅は約31億円
今年度の合併算定替による普通交付税の増加額は、約31億円となっています(左グラフ)。普通交付税の算定基準は毎年度変更されるため、合併算定替の額も年度によって増減しますが、今年度の増加額を基準とした場合、平成27年度から約31億円が減少。平成23年度の一般会計収入決算額(337億8千万円)で見た場合、約1割の

収入が減ることになります。普通交付税は、地方自治体が自由に使うことができ、一般財源ですので、この減少に対応するためには、使うお金(支出)を節約する必要があります。
行政改革を一層推進
このように本市の財政運営は厳しさを増すことが予想されますが、複雑多様化する市民ニーズの増大や少子高齢化などへの対応のほか、保育所や学校の再配置事業など大型事業を進めていかなければなりません。そこで本市では、職員数の削減による人件費の抑制、借金残高の抑制による将来の返済額の軽減、普通交付税の減少に備えた「合併特例措置通減対策準備基金」への積み立てなどを行っています。
さらに、国に対する制度改善要望とともに、このほど策定した「補助金等に関する基本方針」および「公共施設の見直し方針」に基づいて、さらなる歳出抑制の取り組みを進め、行政改革をより一層推進します。

京丹後市の学校教育改革、「小中一貫教育」を柱に

つながりの中に学びを育む^⑤

京丹後市の将来を担う子どもたちの健やかな成長を育むためには、時代に的確に対応した教育環境を整えることが重要です。市教育委員会では、「小中一貫教育」の実現を柱とする「学校教育改革構想」の策定に取り組んでいます。今回は、小中一貫教育の具体的な教育内容について、Q & Aでお知らせします。

問 学校教職員の体制は変わりますか。
答 今年度は、小学校と中学校の連携を担当する専門教員を、小中一貫教育モデル校の峰山、網野両中学校に市費で配置しました。市全体では、小学校の授業を担当する中学校教員を配置するなど、小中一貫教育の実施体制づくりを進めています。
今後、小中一貫教育では、小学校高学年の一部で教科担任制を導入します。このような教職員体制の拡充により、子ども一人ひとりへのきめ細かな指導の一層の充実を図ることとしています。
問 小学校の教科担任制とは、どのような指導形態ですか。
答 中学校のように各教科をそれぞれ専門の教員が受け持つのではなく、学校の規模や条件に応じて、一部の教科で専任の教員を配置したり学級担任などが交代で授業を行った指導形態です。
小学校高学年の時期に、子どもたちを複数の教員

の目で見ても、きめ細かな指導を進めることをねらいとしています。
問 市外の学校に転校するとき、カリキュラムの違いなどの問題は生じませんか。
答 文部科学省が各教科の学習内容に関する全国的な基準を「学習指導要領」で示しており、本市の小中一貫教育では、これに準拠したカリキュラムを編成することとしています。ですから、市外の学校の学習内容と大きく異なることはありません。
問 市独自の特色ある学習はありますか。
答 地域を題材として、各教科の学習と関連付けながら、ふるさとを学ぶ「丹後学」を実施する予定です。また、子どもたちの言語力やコミュニケーション力を育むための授業を、小中学校の9年間を通して系統的に進めます。
問 「丹後学」ではどのようなことを実践するのですか。
答 本市への愛着と誇りを持つ子どもたちを育て



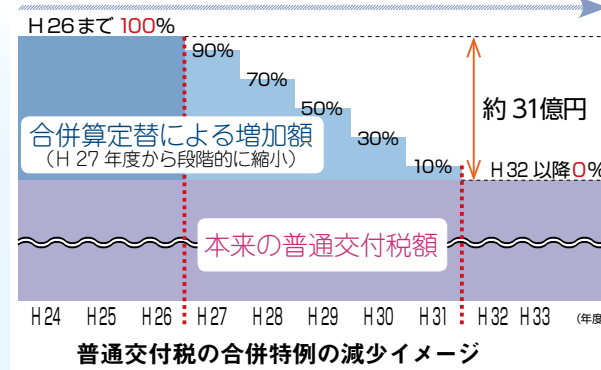
学校支援ボランティアによる小学生の部活動体験支援(峰山中学校区)

を挙げて進めることとし、そのための体制づくりを市民参画により進めます。
図 学校教育課
☎69・0620



シリーズ
京丹後市の
台所事情
11

普通交付税の合併算定替



市町村合併は、一般的にさまざまな経費の節減が図られるとされていることから、普通交付税は減少することになります。ただし、合併直後から行政経費が節減できるものではないため、合併後10年間(4月1日合併の場合)は11年間は、合併前の旧市町村が存続するものとして算定した額(合併算定替)が交付されることになります。
本市もこの特例措置が適用されていますが、この適用期間は平成26年度まで。それ以降は段階的に減少し、平

平成 25 年 1 月 1 日施行

暴力団排除はみんなの手で！

京丹後市暴力団排除条例を制定 違反者には罰則

暴力団は、市民生活や社会経済活動に深く介入し大きな脅威を与えています。そこで平成3年に暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」が制定され、本格的な暴力団対策が始まりました。平成20年の法改正により、「暴力排除活動の促進を図るため、事業者や国民などへの情報提供や助言、指導など必要な措置を講ずること」が地方自治体に義務付けられ、京都府をはじめ全ての都道府県で暴力団排除条例が制定されました。

しかし、京都府の条例は府下の自治体の事務事業には適用されないことから、府内の市町村で独自の規定を設けた条例を制定する動きが高まってきました。

本市でも、この9月定例会市議会で「京丹後市暴力団排除条例」を制定し、来年1月1日から施行することとなりました。

この条例は、「市民の安全・安心で平穏な生活の確保」「事業活動の健全な発展」「青少年の健全な育成」を目的に、暴力団排除に関する基本理念、市や市民などの責務および市の施策などを定めるものです。

市民協働課
☎69・0240

基本理念 暴力団を「恐れない」「資金提供しない」「利用しない」

これらを基本として国、京都府、市、市民および事業者が相互に連携、協力し、社会全体で推進されなければなりません。

■市民などが取り組むこと

《市民や事業者の責務》

市民は、暴力団排除に自主的かつ相互に連携して取り組むように、また事業者は、その行う事業に対し、暴力団との一切の関係を遮断するように努めるものとします。さらに、市が行う施策への協力や暴力団排除の情報提供にも努めるものとします。

《威力利用行為、利益供与の禁止》

事業者は、暴力団の威力を利用したり、活動や運営に協力する目的で利益供与を行ったりしてはなりません。

■市が取り組むこと

《市の責務》

市は、国、京都府、市民団体および市民などと連携し、暴力団排除に関する施策を推進するものとします。

《暴力団排除のための施策》

市は、公共工事や事務事業から暴力団を排除するものとします。また、市民や事業者が暴力団排除に取り組むことができるよう、情報提供などを行います。

《公の施設の利用制限、市財産の貸付などの禁止》

市は、暴力団の活動行事に対して、市が設置した公の施設の使用を許可しないものとします。また、市の財産の貸し付けなどをしないものとします。

《青少年の健全な育成》

市は、中学生などが暴力団に加入せず、暴力団員による犯罪の被害を受けないための教育の推進に努めるものとします。

《公共工事からの暴力団排除》

市は、暴力団員等(※)と請負契約をしないものとします。また、市と請負契約した元請契約者(下請契約者を含む)なども暴力団員などと契約をしてはなりません。

⇒市は、150万円以上の契約において、元請契約者などから暴力団員ではないことなどの誓約書を徴し、元請契約者などは、誓約書を5年間保存しなければなりません。

《罰 則》

- ・誓約書の虚偽記載をした者
1年以下の懲役または50万円以下の罰金
- ・誓約書を徴しなかった者、5年間保存しなかった者
5万円以下の過料

⇒市は、必要な限度において元請契約者などに報告や資料の提出を求めることができます。

- ・報告や資料の提出をしなかった者、虚偽の報告や資料の提出をした者
20万円以下の罰金

《両罰規定》

法人(法人でない団体の代表者を含む)の代表者、従業者などが業務に関して条例に定める違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人または代表者などに対しても、罰金刑が科されます。

(※)暴力団員等

「暴力団員」「法人でその役員または規則で定める使用人のうちに暴力団員のあるもの」「個人で規則で定める使用人のうちに暴力団員のあるもの」「暴力団員がその事業活動を支配する者」

「リ・スタイル」(Resyle)とは、平成14年版循環型社会白書で国が唱えた廃棄物削減の3R(リデュース、リユース、リサイクル)のReを推進する生活様式のこと。本市では、この3Rの考えに、不必要なものは購入しない、利用しない(発生させない)という立場をとる「リジエクト」の考え方を加えて4Rとしています。

今回のテーマは「リサイクル」。不用品や廃物を再資源化し、新たな製品の原料として利用することで、環境への負荷を抑えようという取り組みです。

限りある資源を有効に活用する
リサイクルといえば、紙やビンなどの再利用を思い付く人が多いと思いますが、前号の「リユース」と同様に限りある資源を大切に使い切るということが基本になっています。そこで、皆さんが身近にできる資源の有効活用について紹介します。

例えば読み終わった後の新聞。資源ごみとして地域の回収などに出す



古新聞を使って簡単に作ることができる「新聞エコバッグ」

ことで、新たな紙製品に生まれ変わります。私たちにできる身近なリサイクルとして定着しています。

一方で、古新聞は昔から包装紙としても利用されてきました。そこで注目したいのが古新聞を使った「新聞エコバッグ」(写真)。紙ですの水気には弱いものの結構丈夫で、写真紙面や英字新聞を使えば、おしゃれなバッグになります。作り方はインターネットなどで紹介されていますので、皆さんも一度作ってみてはどうでしょうか。

弥栄町船木にある「京丹後市エコエネルギーセンター」では、家庭から出る生ごみなどの食物残さをバイ

オガス発電や肥料の原料として有効活用しています。従来は可燃ごみとして処理していた生ごみもきちんと分別すれば資源になります。施設で作られた液体肥料(液肥)は、有機質肥料として田畑のほか家庭菜園に活用することで、環境にやさしい循環型農業の形成にも貢献できます。

使用済みの食用油は、軽油の代替品となるバイオディーゼル燃料(BDF)やせっけんにリサイクルできます。BDFは大気中の二酸化炭素を増やさない環境にやさしい燃料。市の学校給食配送車やごみ収集車のほか、農業用車両の燃料として使われています。市内のNPO法人「エコネット丹後」(野木武理事長)では、廃食用油の回収とBDFを利用する取り組みを進めています。

皆さんも、身近なリサイクルを実践しながら、新しい商品を買うときにはリサイクル商品を買うことで「リサイクルの輪」を広げていきましょう。

環境バイオマス推進課
☎69・0480

私のエコスタイル



岡真子さん(久美浜町船谷)

私には、子どもが安心して泳げる海、川にしたい」という思いを持つ仲間と「クリーンレディス会」を立ち上げ活動しています。「台所から美しくを合言葉に、生活雑排水をなるべく排出しないための取り組みを広める活動を行うボランティア団体です。

会では、有用微生物群(EM)を利用して、廃食用油が原料のせっけんを作ったり、米のとぎ汁で液肥を作ったりしています。廃食用油も米のとぎ汁も、そのまま流すと河川や海を汚しますが、リサイクルすることで環境にやさしく有益なものになります。

「リ・スタイル」で エコな暮らしを

Vol.3

丹後が誇る自然の美しさは、私たち市民の「宝」です。しかしながら、時代の変化とともにこの美しい姿も変わりつつあります。美しい丹後の自然を未来につないでいくため、「リ・スタイル」で環境を意識した生活様式に見直してみませんか。



まちのわだい

★town topics★



網野中3年が車いすや点字器で福祉体験

点字器の使い方教わり、短文の作成も

10月2日 網野町

網野中学校の3年生97人が10月2日、障害のある人たちの生活を体験しました。障害に対する正しい認識を持ち、さまざまな立場にある人の気持ちを理解する心を育てることを目的に、同校が毎年実施しているものです。

生徒たちは、車いす、アイマスクによる歩行、点字、手話の4つの体験講座から希望する講座を選択。講師を務める社会福祉協議会の職員や、目や耳に障害のある人たちから点字や手話を使ったコミュニケーションを学んだり、車いすやアイマスクを使った歩行を体験したりしました。また点字講座では、講師を務めた点字ボランティアの平野ゆかりさんから、一般的な6点式点字の読み方や点字器の使い方を習得。生徒たちは、平野講師から『私は』の『は』は『わ』、『おとうさん』の『う』は『ー』と表します』などとアドバイスを受けながら、点字用紙に自分の名前や短文などを打ち込みました。

松本佳樹君は、「点字器で文章をつくるのは地道な作業ですが、コミュニケーションを図るためには欠かすことのできない大切な作業だと思います」と話していました。



▲平野講師にアドバイスを受けながら点字器を使う生徒たち

学校の“手作り窯”で陶芸品

川上小で恒例の「やきもの教室」

9月25日 久美浜町

川上小(久美浜町)が9月25日、恒例の「やきもの教室」を開きました。同校の保護者たちが昭和49年に手作り窯を設置して以来毎年行っているもので、児童たちに物づくりの面白さを伝え、伝統文化に親しんでもらうことが目的。全校児童48人と保護者、地域の方たちと一緒に陶芸にチャレンジしました。

児童たちは、土で手を真っ白にしなが花瓶、茶わんなど思い思いの作品を制作。表札を作った西山晴紀さん(5年)は、「漢字の部分が難しかったけど、満足いくものができました。焼き上がりが楽しみです」と話していました。



▶細心の注意を払いながら、丁寧に作品を作り上げる児童たち(児童たちの作品は11月3・4日に開かれる久美浜町文化祭(久美浜小)で展示される予定)



▲手話を交えて童謡「ふるさと」を歌う女性たち

かんじき名人の技、孫たちへ

最後の祖父母参観で思い出づくり

9月28日 大宮町

ふるさとの自慢や伝統文化を後世に伝えようと、「かんじきづくり講演会」が9月28日、大宮第三小(大宮町)で開かれました。同講演会は、同小が祖父母参観に併せて企画したもの。

この日学校を訪れた30人の祖父母たちは、児童たちと一緒に、地元でかんじき名人と呼ばれる田上逸郎さん(同町五十河)の講演に耳を傾けました。また講演の後には、田上さんが作った「かんじき」を孫たちに履かせたり、孫たちが喜んで歩く姿を見たりして、昔を懐かしんでいました。

児童たちは、「思ったより軽い、雪の上で歩いてみたい」などと感想を述べていました。

同小で行われる最後の祖父母参観で名人の技に触れ、楽しい思い出をつくりました。



▲田上さんの「かんじき」を児童たちに履かせる祖父母たち

「ぶどう大福」でまちおこし

地元食材で特産品開発

9月30日 丹後町

▲ぶどう大福を作る女性会員

地元食材で特産品づくりを目指す宇川美味しんぼ倶楽部の女性会員を対象に、「宇川料理教室」(宇川里力再生会議主催)が9月30日、丹後町の平住民センターで開催されました。

同教室は、これまでに同倶楽部員が考案したアイデア料理(全36種類)の作り方を知ってもらおうと企画され、20人の会員が参加。地元産で旬のぶどうを白あんで包み込んだ「ぶどう大福」の作り方を学びました。

参加者のひとり酒井美苗子さん(同町平)は、「今は試行錯誤の時。大勢の人の手で、いろんな味を試して一番の味を追求したい」と話していました。

この他、地元で昔から伝わる渦巻き模様をした「渦巻きせんべい」※も作り、素朴な味を楽しんでいました。

※10月28日開催の「第3回宇川美味しんぼ大会」出品予定

「おたっしや体操」で転倒予防

高齢者が体力づくりの必要性学ぶ

10月4日 峰山町



▶「おたっしや体操」の片足立ちの実技指導を受ける参加者

「峰山町高齢者大学」の一般教養講座が10月4日、峰山地域公民館(峰山町)で開催されました。

峰山町内の住民約30人が参加し、転倒予防策として、体力づくりの必要性や私生活での注意点を学びました。

講演の後、転ばない体づくりを目的とする「おたっしや体操」(府推奨)の実技指導も行われ、片足立ちやスクワットなどを体験しました。この他、振り込め詐欺などの犯罪被害についての講演や大正琴、オカリナの演奏も行われ、有意義な時間を過ごしました。

ウィンズが他市町の女性団体と交流会

小学校への花のお届け事業など活動を紹介

9月28日 弥栄町

弥栄町内の女性団体「ウィンズやさか野」(今西茅織会長)と府内の女性団体「ステップあけぼの」宮津・与謝支部(糸井範子支部長)のメンバーが9月28日、やさか花の木(今西会長宅)で交流会を開きました。ステップから「ウィンズの活動を間近に見て今後の活動に生かしたい」と打診を受けたウィンズが、同団体を招いたもの。

ウィンズのメンバーは、スライドを使って「小学校への花のお届け事業」や、「冬季のイルミネーション事業」などの活動内容を紹介。今西会長の男女共同参画をテーマとした講談も行われました。

また、手話を交えて童謡「ふるさと」の合唱や、会場付近にあるちりめん工房や醤油屋の見学を通して交流を深めました。

今西会長が「これを機に助け合い、元気に活動していきましょう」と参加者たちに呼び掛けると、糸井支部長は、「ウィンズの皆さんはとてもパワフル。この交流会が、今後の活動に生かせる大きな収穫になりました」と話していました。



あなたに合った体重を維持しましょう



「ダイエット」と聞くと、「肥満体型の人が体重を減らすこと」とイメージしがちですが、本来は「健康的な体型になるための食事療法または食事そのもの」を指します。つまり、体重を減らすことだけではなく、「体重を自分の体に合わせて適正にコントロールすること」が正しいダイエットです。今回は、無理のない、正しいダイエットについて紹介します。



サン 3カ月で 3*_{kg}減目指す「サンサンチャレンジ」

京丹後市では、健康診査（特定健診など）を受けられた方を対象に『サンサンチャレンジ』をお勧めしています。『サンサンチャレンジ』とは、^{サン}3カ月で^{サン}3kg 体重を減らすための取り組みです。

チャレンジする方は、まず保健師や管理栄養士と一緒に、無理なくできる目標（プチ目標）を立てるとともに、食事と運動習慣を見直します。そして、「3カ月後になりたい自分」をイメージし、記録票に記入します。

挫折しそうになったら、健康推進課までお電話いただくことで、保健師などが相談に応じ、目標の見直しやアドバイスをを行います。また、保健師などから電話や面接で状態を伺うこともあります。

プチ目標（サンサンチャレンジに参加した方の目標から抜粋）

- ★ ビール大瓶 1本+焼酎 2杯を減らし、350ml 缶 1本+焼酎 1杯にする。
- ★ ゆで野菜を食事のはじめに食べる。
- ★ 菓子パンをやめ、果物や牛乳に変える。
- ★ 一日の歩数を、1000歩増やす。
- ★ 晴れた日は 30分歩く。
- ★ 毎日体重計にのる。 など

チャレンジ成功者は約6割

平成 23 年度は 102 人がサンサンチャレンジに挑戦。3カ月後、6カ月後に体重と腹囲を測定したところ、半数以上がダイエットに成功。「からだがすっきりした」「検査の結果が良くなった」などの感想をいただきました。

3カ月後測定

	平均	最大減少値	減少者率
体 重 (kg)	-1.9	-8.3	55%
腹 囲 (cm)	-3.3	-11.3	57%

6カ月後測定

	平均	最大減少値	減少者率
体 重 (kg)	-2.2	-11.1	56%
腹 囲 (cm)	-4.2	-16.2	70%

チャレンジDay、運動講座を利用して目標達成

チャレンジDay（相談日）

目標設定や挫折しそうになったときなどに利用していただく相談日です。参加を希望する方は、健康推進課まで電話で予約をしてください。また、新たにチャレンジする方には、「チャレンジ記録票」「メタボメジャー」をプレゼントします。

日時:11月7日(水)、11月27日(火)、12月7日(金)
12月19日(水)
午前9時～11時30分
会場:峰山総合福祉センター

チャレンジ運動講座

「運動を始めるきっかけがない」「いつも歩いているのに効果を感じない」などと思われる方にお勧めの教室です。安全で効果的なウォーキング、筋肉をつけて痩せやすい体をつくる筋トレ運動などを紹介します。参加を希望する方は、11月30日(金)までに、健康推進課まで電話で予約をしてください。参加者には「健康タオル」をプレゼントします。

日時:12月7日(金)
午後1時30分～3時30分
会場:峰山地域公民館

*天候がよければ屋外にウォーキングに出かけます。
その場合、講座の終了が若干遅くなります。



▲チャレンジ運動講座で「大また歩き」する参加者たち

お問い合わせ・ご相談は、健康推進課 ☎ 69-0350

▶子育て支援に関するプレゼンテーションの様子



子育て支援ネットで安心できる子育て環境を

丹後地域には、子育てサロンや親の会、育児サークルなど、数多くの「子育て支援団体」があります。丹後広域振興局では、各団体の交流や連携を促進し、丹後地域で安心して子育てができる環境をつくることを目的に「丹後地域子育て支援ネットワーク」を昨年度立ち上げました。

子育て支援に関するプレゼンテーションなどの企画や会議を実施。それらを通じて、お互いのイベントの手伝いや、子育てに関する意見交換などで交流を深め、その活動にも広がりが生まれてきています。

子育てフェスタの企画、運営に参加しませんか

同ネットワークでは、独自に子育て支援のイベントの企画、開催も行っています。昨年12月、子育て世代の親子が一緒に楽しめるイベント「子育てフェスタ in 丹後」を開催



▲「子育てフェスタ in 丹後」でアニメのキャラクターと触れ合う子どもたち



▲「子育てフェスタ in 丹後」でばらけ作りを体験する親子

丹後地域子育て支援ネットワーク（事務局）京丹後保健所 ☎ 62・4302

しました。専門家による子育て相談室や、子育て支援団体の紹介に加え、映画の上映会やマジックバルーン教室などのコーナーを設置。子ども連れなど、約150人の方に参加していただきました。

今年度も、来年3月16日、17日に「子育てフェスタ in 丹後」を開催する予定で、現在、当日の催しを企画しています。企画や当日の運営は、子育てを応援したい団体であればどんな団体でも参加できます。この機会に「丹後地域子育て支援ネットワーク」に参加して、行政や地域の子育て支援団体と交流してみませんか。詳しくは、「丹後地域子育て支援ネットワーク」へお問い合わせください。

京都府で取り組んでいる市民生活にかかわる事業などについて紹介しています。

「丹後地域子育て支援ネットワーク」に参加しませんか。

ネットワークを利用して、団体間の交流・連携を促進



消防の広場

119

火事・救急・救助

平成23年6月から
すべての住宅に
住宅用火災警報器
の設置が義務化
されています

消火器は、水のかかる場
所に置かないでください。



こんな消火器
家に眠っていませんか？
見つけたら、絶対に触らず、
業者に処理を依頼してください。

原因は容器の腐食

メーカーや消防機関からの情報提供により把握している消火器の破裂事故の件数は、昭和43年度から平成21年度までの間で合計161件。このうち、人的被害は死者15人、負傷者99人となっています。

事故の原因は、容器が腐食して強度が低下したために発生したと考えられ

るものが74件。そのうち、加圧式消火器によるものが70件と、95%を占めています。

左上の表からも分かるように、長年放置した消火器は、とても危険です。

消火器の破裂事故を防ぐには、容器を腐食させないことが最も重要です。

炊事場のシンク付近や屋外など、水がかかる場所や湿気の多い場所には置かないでください。

近年、放置され老朽化した消火器の破裂事故が発生しています。何が原因で、どのような消火器が破裂してしまうのか。今回は、消火器の破裂事故の防止と対策について紹介します。

老朽化した消火器は危険

消火器は、圧力によって消火薬剤を放射させるものです。圧力の加え方の違いで、「加圧式消火器」「蓄圧式消火器」に分けられます。見分け方は、圧力ゲージの有無。加圧式は、圧力ゲージがありませんが、蓄圧式は、レバー付近に圧力ゲージがあります。（左写真）

老朽化した消火器で特に危険なのは「加圧式」。加圧式は、レバーを握ると消火器内に瞬時にガスが充填し、その圧力で消火薬剤を放射する仕組みになっています。そのため、さびなどで本体に痛んだ部分があると、加圧により耐え切れず本体が破裂し、大事故につながる恐れがあります。

老朽化した消火器は、絶対に分解したり、レバーを握ったりしないでください。



消火器の廃棄は業者に依頼

老朽化した消火器をいつまでも置いておくと破裂事故につながりかねません。絶対に自分で処理をせず、専門業者に依頼し、すみやかに処分してください。

ご不明な点は、市消防本部予防課（☎62・5119）までお気軽にお問い合わせください。

近年発生した老朽化消火器の破裂事故例

年度	場所	経過年数	事故概要	人的被害
平成13年度	愛知県	22年	野焼きの火を消しようとして操作	死亡1名
平成20年度	北海道	27年	腐食が進んだ消火器を廃棄するため、放射しようとした際底部が破裂	負傷者1名
平成21年度	大阪府	20年	子供が遊んでいたところ屋外駐車場に置かれていた消火器が破裂	負傷者1名
平成21年度	福岡県	41年	納屋の軒下に置かれていた消火器を自ら廃棄しようとして操作したところ破裂	負傷者1名
平成21年度	滋賀県	30年以上	建物裏に放置されている消火器を放射したところ、本体底部が破裂	負傷者1名

（社）日本消火器工業会の調査及び関係消防本部からの報告

消火器の処分には次の4つの方法があります

1. 「特定窓口」または「指定引取場所」に持ち込む
2. 「特定窓口」に消火器の引き取りを依頼する
3. 「エコサイクルセンター」に連絡し、ゆうパックによる回収を依頼する
4. 販売店で消火器を買い換えるときに処分を依頼する

※ 市のゴミ処理施設や消防署では処分できません



救急一メモ

鼻血の正しい止血法

鼻血は、医学的には鼻出血と呼ばび、そのほとんどが「キーゼルバツハ」という部位からの出血です。この部分には毛細血管がたくさんあり、薄い粘膜でできています。そのため、血管が破れやすく出血します。

鼻血は、誰もが経験する一般的な症状だと思いがちですが、正しい止血法を知っていますか。

一般的には、上を向いたり首

圧迫と冷却で効果的な止血を！

の後ろをたたいたりする方法が広まっていますが、あまり効果はありません。

正しい止血法は、親指と人差し指で鼻をつまみ、10分間ほど圧迫します。さらに、冷たいタオルや氷のうなどで鼻を冷やすと、血管が収縮するため効果的に止血できます。

このとき上体を起こして椅子や床に座り顔を少し下に向けてと、血液がのどに流れ込まず気分が悪さも出にくくなります。



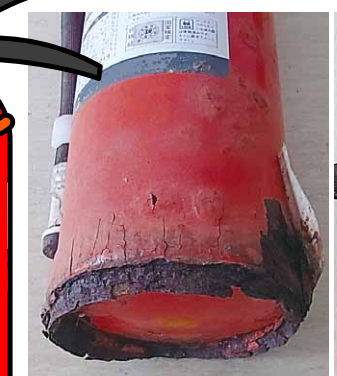
市消防本部救急救命士
まき 櫻井 昭裕



▲ホースが脱落している



▲圧力ゲージの針が緑色の範囲内を指していない



▲容器底部が腐食している



▲レバーがさび、ふたが腐食している

高齢者叙勲
旭日単光章（地方自治功労）



坪倉 操 一郎さん(88)
(弥栄町船木)

昭和46年4月から3期12年間にわたり弥栄町議会議員として活躍。織物振興や学校統合、各種教育施設整備に尽力。その功績が評価されました。

全国社会教育委員連合会長表彰



岡 眞子さん(76)
(久美浜町板谷)

【市社会教育委員】

平成3年4月から、久美浜町社会教育委員として就任以来、積極的に地域課題の把握に努め、特に自然と環境を守る活動を中心に活躍。その功績が評価されました。

へき地医療貢献者表彰



山本 康さん(53)
(弥栄町堤)

【市立久美浜病院診療部長】
【市国民健康保険直営佐濃診療所長】

平成8年4月、弥栄病院へ赴任。17年4月からは久美浜病院の内科医師として、さらに佐濃診療所長を兼務、また五十河診療所での診療など、へき地医療に尽力。その功績が評価されました。

『ご意見箱』への投稿について

市では、「ご意見箱」に寄せられた投稿内容や対応結果については、投稿者への回答をはじめ、市ホームページや広報紙を通じて広く周知しています。

意見や要望の中で、市の施策への誤解と思われる投稿などは、投稿者に直接主旨や意向などを確認したり、補足説明をしています。

しかし、投稿者名や連絡先が未記入であったり、回答希望の意思が確認できない投稿には充分な対応ができません。

今後も市民サービスの向上に努めていきますので、ご意見箱の主旨をご理解いただき、投稿者名など必要事項の記入をお願いします。

【秘書広報広聴課】



在住外国籍市民の皆さんから投稿いただいた京丹後市への想いをシリーズでお届けします。



李 鍾云さん(38)
丹後町竹野在住

私は韓国の春川市で生まれました。京都のように山に囲まれた盆地、幅100メートルを超す川が流れる湖畔の都市で、韓流ドラマ、冬のソナタのロケ地となり、有名になりました。

高校卒業後、徴兵により入隊。2年半の経験が今の生活にとっても役立っています。服務を終え、カナダへ語学留学。そして地元企業で働き始めた頃、家内と出会いました。

仕事の関係で来日して7年間は東京で暮らしていましたが、家内との縁もあり、昨年、京丹後市にきました。ここに来るまでは、東京と同じような高層ビルや大型ショッピングモール、行列のできるケーキ屋、何万人が来場する遊園地などがあるのと思い込んでいました。しか

地元の秋祭りで神輿を担ぐ李さん(写真中央)

し、現実とは…。最初は何をしたら良いか悩んだものの、ここは「自然を感じるために1時間電車に乗らなくて良い場所」「自然を満喫するためにお金が必要ない場所」と考えると悩みはすぐに消えました。すぐ側に海があり、透명한イカ、アジ、キス釣りが楽しい、旬の味覚が味わえる。山の幸も同様です。

また市内には、きれいな海（浜辺）がたくさんあるので、大勢に紹介して欲しいです。例えば写真家を対象とした散策ツアーやインストラクターの指導でシーカヤック、磯釣りなどが体験できれば、面白いと思います。

世間では、孤独死という悲しいニュースが報道されていますが、人間関係の希薄さが関係していると思います。京丹後市の皆さんは、見慣れない私に話し掛けてくれたり、野菜などを分けてくれたりします。地元の方にとってはごく自然なふるまいかもしれませんが、その気遣いに、とても感動しています。きっと観光客も市民の皆さんのもてなしや親切心は旅の良き思い出となっていると思います。

先日の秋祭りでは、神輿を担ぎ、楽しいひとときを過ごしました。

都会の便利さを選ぶか自然と人間の暖かさを選ぶかは個人の自由。

この地に住むことも何かの縁だと思えます。この素敵な自然を大切に、一人でも多くの方が住みたい、住んでみたい地域になるよう、いち市民として役に立ちたいです！

支援米28袋
福島県相馬市へ

市では、6回目となる支援米（一袋30キログラム）28袋を相馬市へ届けました。

ご支援いただきました皆さん、ありがとうございます。支援米は、引き続き募集しています。

市災害支援対策本部
69・0140（総務課内）

みんなの 声

ご意見箱から

冬の登下校時の子どもたちの安全確保を

京丹後市では冬場は雪が多く降り、除雪した雪が道路の端に積まれるため、子どもたちは車道を歩くこととなります。冬の通学路の安全確保について、今のうちから真剣に考えてほしいです。学校が主体になつての小型除雪機械の購入や地域ボランティアによる歩道の除雪、また、車道を歩かざるを得ない場所での見守り隊活動の充実など、学校、警察、PTA、市役所などで話し合わせ、必要な予算を補正で上積みするなどして、子どもたちの命を守ってほしいです。積雪時の高校生の自転車での事故も怖いのです。

【住所、年齢未記入・女性】

「関係機関との検討と地域での取り組みを進めます」

通学路の歩道除雪については、小型除雪機械を地区へ配備（貸与）、地域との連携・協働のもと行っているところですが、機械台数に限りがあるため、全域を除雪する

も頑張ってください。

【峰山町・10代・男性】

▼胃がんの予防にABC検診を受けることができ、ありがたいです。

【大宮町・70代・男性】

Q イベントなどの写真をたくさん撮っておられると思いますが、広報紙などに載っているのは、ほんの一部だと思います。紙面に載らない写真は処分しているのですか。

【久美浜町・50代・男性】

A 広報担当者が撮影した写真データ※は、行政記録として保存する他、広報紙以外に市の発行するパンフレットや公的機関への情報提供などに使われています。

ただし、一定期間を過ぎて情報が古くなったデータは、適宜削除しています。



※デジタルカメラによる撮影のため、デジタルデータとして、ハードディスクに保存

【秘書広報広聴課】



田畑 輝空ちゃん(男の子)
9月生まれ・3,242g
母: 美香さん 父: 和樹さん
(大宮町口大野)



近藤 統八ちゃん(男の子)
9月生まれ・3,176g
母: 尚子さん 父: 快人さん
(大阪府大阪市/実家: 弥栄町和田野)



池口 涼太ちゃん(男の子)
9月生まれ・2,930g
母: 美希さん 父: 裕己さん
(久美浜町橋爪)



金保 龍以ちゃん(男の子)
10月生まれ・3,052g
母: 麻世さん 父: 憲弘さん
(弥栄町和田野)



中右 鈴乃ちゃん(女の子)
9月生まれ・2,850g
母: 郁乃さん 父: 智己さん
(大阪府羽曳野市/実家: 網野町浅茂川)



小谷 優輔ちゃん(男の子)
9月生まれ・2,506g
母: 優歌さん 父: 真吾さん
(弥栄町鳥取)



田中 凜ちゃん(女の子)
9月生まれ・3,064g
母: 亜衣さん 父: 真儀さん
(大阪府大阪市/実家: 峰山町杉谷)

A bond of life

生命の絆

生まれてきてくれてありがとう

このコーナーでは、弥栄病院で赤ちゃん誕生の瞬間を喜びご家族の姿を紹介します。ご応募いただいた全ての方を掲載しています。どしどしご応募ください。

詳しくは秘書広報広聴課「生命の絆」係まで ☎ 69-0110



▲141kgの重量挙げに挑戦する本田君

準優勝

62kg級 加悦高2年
本田大智 君

ウェイトリフティング

第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」が9月29日～10月9日、岐阜県内の各会場で開催、市内の高校生が各種目で輝かしい成績を収めました。ウェイトリフティングでは、大宮町出身の本田大智君(加悦高2年)が62kg級スナッチと同kg級クリーン&ジャークの2種目に出場。スナッチで3位、ジャークでは準優勝となり、総合成績でも準優勝を飾りました。本田君は、「府代表として国体に参加できたことに感謝。課題を克服し、次は全国優勝したい」と話していました。



たかたにだいち 高谷大地 君
網野高3年



いとうかずま 伊藤和真 君
網野高3年

66kg級優勝 60kg級優勝

レスリング

伊藤君は「高校最後の大会で優勝できたのはうれしい。3年間厳しい練習をやってきた成果が出せた」、高谷君は「インターハイチャンピオンとして負けないといけない。優勝できてほっとした」と話していました。



はたなかひろき 煙中博貴 君 久美浜高3年
たか や たく と 高谷琢人 君 久美浜高3年

ペア200m、500m 準優勝

カヌースプリント

高谷君は「優勝を目指していたが、準優勝でも悔いはない。自分たちができる最高のレースだった」、煙中君は「相手とは無意識でもパドルが合うまで練習を重ねた。試合では、周りを気にせず、相方を信じて漕ぎ切った」と話していました。

市内の高校生、国体で活躍

ウェイトリフティング・レスリング・カヌー

9月29日～10月9日

岐阜国体

「走るのが楽しみのになった」

志水さんの陸上教室 五箇小

五箇小学校が9月28日、本市出身でアトランタ、シドニー五輪に出場した志水見千子さん(チームミズノアスレチック)を招き、3～6年の児童43人を対象とした陸上教室を開きました。

志水さんは、「『楽しく走ろう』という気持ちで走ることが重要」と話し、児童たちとグラウンドでランニング。児童たちに「肩ではなく、腕をしっかり振って。足を大きく上げよう」などとアドバイスしました。

後藤花佳ちゃん(3年)は、「こつを教えてもらったので、速く走れるようになりました。走るのが楽しみになりました」と話していました。



▲志水さん(左)と一緒にランニングを楽しむ児童たち



八丁浜ロードレースでさわやかな汗

八丁浜(網野町)周辺で10月14日、第15回あみの八丁浜ロードレース大会(同実行委員会主催)があり、約750人のランナーが潮風を受けながらさわやかな汗を流しました。

網野町出身のランナー、田茂井宗一さん、志水見千子さんの功績をたたえとともに、豊かな自然の中で健康増進と体力向上などを目指すことが目的。ランナーたちは、網野北小をスタート、ゴールとする2.5km、5km、10km、ハーフ(約21km)の4部門で健脚を競いました。



日本海形成過程での産物

グリーンタフ (green tuff)

フォトヒックス

「グリーンタフ」(green tuff) は、凝灰岩(火山灰が固まった岩石)のうち、緑がかった岩石のことであり、日本語で「緑色凝灰岩」ともいいます。特に日本海沿岸域には、今からおよそ1400万年前ごろまでの海底火山の活動による火山岩類が多く分布しています。その多くは緑色をしていることから、これらを含めてグリーンタフと呼ぶこともあります。

では、グリーンタフはどのようにして形成されたのでしょうか。火山灰や火山岩類が、もともと緑色をし



網野町の琴引浜で見られる「グリーンタフ」

ていたわけではありません。

海底火山活動により堆積した火山灰や火山岩類には「輝石」や「角閃石」が含まれています。これらの鉱

物は、海水や火山活動の熱による変質作用を受けると「緑泥石」と呼ばれる緑色をした粘土鉱物に変化します。この緑泥石がグリーンタフの色の原因となっているのです。

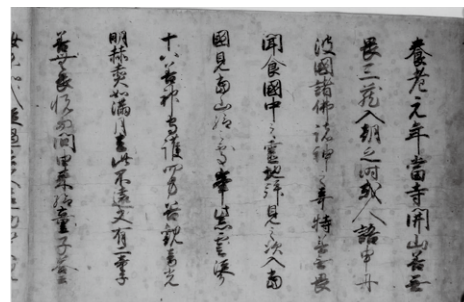
グリーンタフは、大規模な地殻変動により日本海が形成され、日本列島が大陸から分かれて現在の位置に移動する過程でできたもの。本市でも、海岸域の岩場で見ることが出来ます。比較的軟らかく加工しやすい岩質であるため、神社やお寺の石造物、石垣などの石材に利用されています。

縁城寺縁起

(峰山町橋木)

峰山町橋木の縁城寺に伝わる「縁城寺縁起」。縁起とは、お寺の由来を記した書物のことで、縁城寺には漢文で書かれた真名本と仮名で書かれた仮名本の2巻が伝わっています。仮名本は、真名本をそのまま仮名書きしたものです。

それぞれ和紙に墨で書かれたもので、作者は記されていませんが、筆跡から同一人物が書いたことが分かっています。また、書かれた年代は明らかではありませんが、記述内容などから室町時代



「縁城寺縁起」(真名本・縁城寺所蔵)。全文は京丹後市史資料編「京丹後市の伝承・方言」に収録

縁城寺は善無畏の開基と伝える

後期に書かれたものと思われる。

縁起には、縁城寺は養老元(七二七)年に日本にやって来た善無畏(六三七―七三五)進が開いたお寺であると記されています。また、弘法大師により発信貴山という山号(仏教の寺院に付ける称号)が定められ、平安時代後期(11世紀)には、観音菩薩の霊地として再興されたとの記述もあります。

縁城寺縁起は、昭和60年3月28日付で峰山町指定文化財(古文書)に指定され、平成16年の京丹後市発足に伴い市の指定文化財になっています。

(注)善無畏は東インドのオリッサ国の王子とも中インドの王子ともいわれています。

(文化財保護課)



Pick-up

115歳の木村次郎右衛門さん

「男性長寿世界」ギネス再認定

115歳で国内最高齢者の木村次郎右衛門さん(丹後町中野)が10月15日、英国のギネスワールドレコーズ社から、2度目となる「男性長寿世界」のギネス認定を受けました。

この日、同社のクレイグ・グレンディ編集長ら2人が木村さんの自宅を訪問。115歳と179日(15日時点)の男性世界最高齢の認定証とギネスブック2013年(英語)版を手渡しました。



英国・ギネスワールドレコーズ社のクレイグ・グレンディ編集長(右)から認定証を受け取り笑顔を見せる木村次郎右衛門さん

「サンキュー」得意の英語で喜び

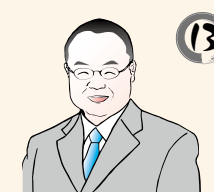
訪問を受けた木村さんは「ユー・アー・ベリー・カインドマン。あなたに感謝します」と得意の英語を交えてあいさつ。編集長から認定証を受け取ると「サンキュー・ベリー・マッチ。万感の思いでいっぱいです」と両手を合わせて喜びを語りました。

編集長は「19世紀に生まれた生存する男性として本当におめでとうございます」と祝福。帰り際に「来年、また来ます」と声を掛けると、木村さんは「早い約束ですね」と応じ、周囲を笑わせる場面もありました。

木村さんは、歌を口ずさむなど終始上機嫌。編集長がロンドンから来たことを知ると、「遠方、誠にご苦労さまです」とねぎらいました。

市長エッセイ

和気泰来 13



昨今、学校現場における「いじめ」の問題が相次いで顕在化しており、本市ももちろんのこと全国各地で学校現場における徹底的な検証と丁寧な取り組みが

「いじめ」問題が

問いかけていること

取り組みが尽くされており、併せて、地域や家庭を含め子どもたちの教育を取り巻く総合的な環境や対応の在り方一般についての検証も求められています。

私はそれと同時に大切に思いますのは、子ども社会のありようは、結局は私たち大人社会全体のありようの「映し鏡」であるという点です。いじめは学校現場だけではなく、広く職場やさまざまな社会生活の

のためには、「二人ひとりが人権を巡る出来事を自分自

身の問題としていかに受け止めることができるか」ということとともに、さらに進んで、まずは「自分自身がいかにたくさんの人様に支えられ、数えきれない御蔭をいただいて生かされているか、そして、どれだけ痛切にこのことへの気づきを得ることができるか」という、根っこにある想いの在り方への啓発が大事だと思うのです。

その気づきが自分の血肉

となること
が基礎にな
って、転じ
て、「他人
を



京丹後市長 中山 泰

図書館だより

今月のおすすめ

■あかいはっぱ きいろいはっぱ



リスに食べられなかったカエデの種。冬を越して芽を出し、若木になり、そして女の子の家の庭に植えられます。緑に色づく夏、黄色から美しい赤に変わる秋。自然の魔法を描いた色鮮やかな絵本です。
※ 現在、この本は販売されていません。

子ども向け

ロイス・エイラト／作
阿部 日奈子／訳 福音館書店

■受いれる



大人向け

加島 祥造／著
小学館

受いれるーすると、運命の流れが変わる／求めない、そして受けいれる／受けいれるーすると、許すということがわかりだす(本文から)。“受いれた”とき何かが変わる、言葉と言葉の間から溢れる著者の思いを感じてください。

11月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	12/1

◆開館時間／10時～18時(峰山・あみののみ水曜は19時まで)
毎週月曜・毎月1日は休館日(土日祝日と重なる場合は翌日)

◆貸出／1人20点まで・2週間

◆図／峰山図書館(☎62-5101) 大宮図書室(☎69-0672)
あみの図書館(☎72-4946) 弥栄図書室(☎65-2101)
久美浜図書室(☎82-1771) 丹後図書室(☎69-0664)

~~~~~



タッチパネル(利用者端末)で図書館(室)にある本を調べることができます

### 図書館(室)の利用について

#### ●レファレンスサービス

(調べ物のお手伝い)

日常生活で生じた疑問、さまざまな調査や研究、調べ物などについて、遠慮なく職員にご相談ください。必要な資料を紹介いたします。

探している本が見つからないとき  
お気軽に職員にお尋ねください。  
さい。図書館(室)にある  
タッチパネル(利用者端末)やホームページから探すこともできます。



身近な素材を使って「隠れ屏風」を作った工作教室。子どもたちが講師の手ほどきを受けながら、オリジナルの作品作りに挑戦した(丹後地域公民館で)

### 児童ら昔ながらの遊びに興じる

丹後図書室(丹後地域公民館内)は9月23日、工作教室を開きました。3歳から小学5年生までの児童9人が参加し、紙をびょうぶのようにつなぎ合わせて、開き方によって異なる絵が出るようにした伝承玩具「隠れ屏風」作りに挑戦しました。  
材料は、牛乳の空きパックを使用。子どもたちは、家族など思い思いの絵を描いたオリジナルの作品を作り上げ、一瞬で変わる絵柄に驚きながら、江戸時代から伝わるおもちゃ遊びに興じていました。

### ★丹後図書室で「隠れ屏風」作り



## 智慧をシボって…

10月も下旬に入り、秋も一層深まってきましたね。秋の味覚に舌鼓を打つ方、スポーツに汗を流す方、また秋の夜長に読書を楽しむ方、さまざまな過ごし方をされていると思います。ん? 「夜は虫がガチャガチャと大合唱してうるさい!」って? 何を言っているんですか! 丹後の皆さんは「ガチャガチャ」という音には慣れているはずですよ。そう機音の音です。私も機音を子守歌に育った一人です。落ち着くんですよ。リズムカルなあの音が…♪

1720年、峰山町出身の絹屋佐平治が織り始めたとされる「丹後ちりめん」。それ以来、機音は「丹後の音」として響き続けています。ガチャンと織るごとに万のお金が儲かる「ガチャマン景気」と呼ばれる時期もあったようですが、この機音が時代の流れとともに消

「丹後きものまつり」に着物を着て参加しました



#### ■宮川 優 (みやがわ ゆう)

京丹後コミュニティ放送・局長。FM たんごメインパーソナリティー。朝の情報番組「たんご・モーニング・サンド!」を担当。年間を通してイベント MC や各ナレーションにも多数出演

えつつあることも事実です。わが家にあった2台の織機は10年前に姿を消し、同時に「シャトル」「おさ」「紋紙」という言葉も家族の会話の中から消えてしまいました。

丹後ちりめんの優れた「技術」と「質」は、長い歴史の中で守り伝えられてきました。今や着物のみならず洋服や小物、さらには生活を彩る素材としても注目されています。10月下旬から、丹後の19の織物企業による製品の展示会が東京で行われるとのことです。

もちろんここ丹後にも丹後ちりめん

の文化は受け継がれています。10月14日には「丹後きものまつり」が天橋立であり、1,300人余りの着物愛好家でにぎわいました。私も司会として参加する中で、日本人の美しさを引き出す着物の魅力を改めて実感。丹後の特産品が丹後ちりめんであることに感激し、丹後ちりめんの可能性を追求し進化させる織物関係の皆さんに感謝した一日でした。

私、宮川優も丹後ちりめんに負けなように、智慧をシボって日々情報をお伝えしていきますよ。

市政情報番組 FM たんご FM79.4 聴

● たんご・モーニング・サンド! 月～金 7:00～8:58  
● 京丹後市からのお知らせ 月～金 13:00～13:05、16:54～16:59

Check

## 広報クイズ

今月号の記事の中からクイズを出題します。全問正解者の中から抽選で5人に図書カード500円分をプレゼント!

問1 平成23年度一般会計歳入総額は〇〇〇億7,636万円  
問2 市民総幸福の最大化を目指す「〇〇のまちづくり研究会」  
問3 〇〇〇〇小学校で「かんじきづくり講演会」

#### ◆応募方法

はがきに①クイズの答え(○の中に入る数字や文字)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想やイラスト、取り上げてほしいテーマなどをご記入の上、秘書広報広聴課まで(宛先は裏表紙を参照)。なお、お寄せいただいた感想やイラストは広報紙に掲載することがあります。※⑥の項目も忘れずにご記入ください。

#### ◆応募締切

11月12日(月)当日消印有効。当選者の発表は来月号のこのコーナーで。

#### ◆10月号の答え

問1…砂浜海岸 問2…サーフィン 問3…2716

#### ◆10月号当選者

岡本由貴子さん(網野町)、吉岡香織さん(峰山町)、奥田逸子さん(久美浜町)、吉岡雅文さん(峰山町)、大木敏正さん(大宮町)

応募総数20人、正解者数18人でした。ご応募ありがとうございました。

## Kia 京丹後市国際交流協会



27 韓国の生活文化や習慣などを学んだ一韓国文化講座(9月)

### 「より韓国に親しみを持った」

#### 「韓国文化講座」で理解深める

市国際交流協会は、9月13日から3回にわたり、韓国の生活文化や習慣などを学び理解を深めるための「韓国文化講座」を峰山地域公民館(峰山町)で開きました。  
丹後町に住む李鍾云さん(韓国出身)が講師。20人が参加した9月27日の最終講座では、韓国のキムチの種類は200以上あることや、結婚式など特別行事の際は、食べ切れないほどたくさん種類の料理が食卓に並ぶことなどを紹介しました。参加者は、「言葉だけでなく文化も知ることができ、より韓国に親しみを持った」などと感想を話していました。

## 京都府丹後文化会館

### インフォメーション

平成24年度丹後文化芸術祭

〒京都府丹後文化会館 ☎62-5200



管内の合唱サークルによる演奏会。児童合唱団からママさんコーラスまで16団体が出演予定

### 第33回 丹後合唱のつどい

11/18 日

時 13:00～16:00

所 京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)

料 無料

主催/丹後文化芸術祭実行委員会・丹後合唱連盟

### 第28回 丹後民踊のつどい

11/23 火 13:00～15:30

所 京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)

料 300円

主催/丹後文化芸術祭実行委員会・丹後民踊同好会

## 市職員人事異動

### 新規採用 [10月1日付]

久美浜病院診療部 医 長 成田 渉  
整形外科

久美浜病院技術部 理学療法士 金盛 正太

久美浜病院看護部 看護師 山下 晶子

### 異動 [10月1日付] ※カッコ内は前所属

久美浜病院 管理者 白岩真寿美  
(久美浜病院看護部 主任看護師)

久美浜病院技術部 作業療法士 安達 徹  
(久美浜病院通所リハビリテーション 管理者)

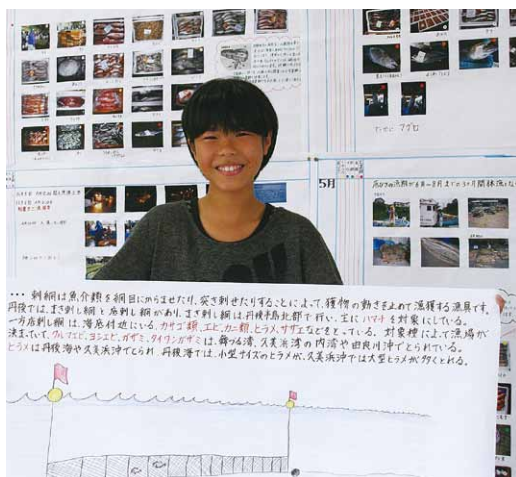
久美浜病院技術部 作業療法士 安達 徹  
(久美浜病院通所リハビリテーション 管理者)

### 退職 [9月30日付]

久美浜病院診療部 医 長 吉岡 直樹  
整形外科

弥栄病院看護部 看護師 宮島 好美

弥栄病院看護部 准看護師 藤元 美保



力作を紹介する小谷愛実さん

kyotangojin

「間人漁港の一年」を調べた

おだに あみ  
小谷 愛実さん(小5)  
丹後町間人

京丹後人

31

## 家族の仕事を知る

### 地域の産業を知る

丹後町の間人漁港には、1年を通してどれだけの種類の魚介類が水揚げされるのか。どんな方法で捕られているのか。昨年9月から1年にわたって調べ上げた小学生がいる。地元の間人小5年、小谷愛実さんだ。作品は、地域の水産業を知る上で、貴重な資料になるものと関係者から注目されている。

◆ ◆ ◆

丹後地域の中核的な漁港、間人漁港。水揚げされる「間人ガニ」は地域ブランドとして全国的に有名である。地元に住む愛実さんは、1年を通して港に水揚げされる魚介類やその漁法などを「間人漁港の一年」としてまとめた。愛実さんの父、嘉一郎さんは、底びき網漁船「大有丸」の船主。母、由紀さんは、船主の妻として乗組員の仕事を支える。「私は、お父さんが捕ってくる魚やカニを食べて大きくなりました」と話す愛実さんは、物心ついたところから海で働く二人の姿を目にしてきた。

1年前の夏、愛実さんは「両親の仕事さをさらに深く知りたい」と思い立ち、底びき網漁が始まる9月から調査に取り掛かった。分からないことはお父さんに聞いたり辞典などで調べたりした。地元の漁協に出向いたりも

した。魚などの写真撮影は、お母さんの力を借りた。そして1年掛かりで集めた資料を整理し、今年の夏休みの自由研究として発表した。

作品は模造紙8枚にも及ぶ力作で、丹後町沿岸における漁業の起源や形態、漁具や漁法などを写真や挿絵を使って説明。中でも一番の特徴は、5枚にわたり記録した「間人漁港に集まる魚たち」。キスやシロイカなど港に水揚げされた魚介類を月別に写真で紹介するとともに、それぞれの漁法を示している。カニ漁が始まる11月は、解禁日の一日も紹介している。

そのほか、魚の漢字を使ったかるた「魚魚(こと) あわせ」から11作品を掲載。魚にまつわる漢字を集め、その読みをクイズ形式で学べるようにするなど工夫を凝らした。魚の種類を調べる中で、「魚の呼び名は、地域によって違いがあるということに驚きました」と愛実さんは振り返る。そして作品の最後には、「いつまでも魚たちが住めるきれいな海にするために、環境について考え、私にもできることから始めたいです」と大好きな海への思いもつづった。

「お父さんたちが命がけで捕ってきてくれる魚。じっくり味わって食べるようにしています」と話す愛実さん。漁師という仕事に携わる父を誇りに思い、感謝の気持ちを忘れな

い。「お父さん、これからも気をつけて魚やカニを捕ってきてくださいね」。11月6日、ズワイガニ漁が解禁する。

## つぶやき

▼私は丹後に生まれ育ちましたが、冬が大の苦手。最近、急に肌寒くなり、ストーブが恋しくなってきました▼20年ほど前、私が小学生のころ夕方家に帰ると、風呂の釜に薪をくべることが私の仕事(楽しみ?)の一つでした。木と煙の香はいい匂いの中で、冷えた体を芯から温めパチパチと燃える薪を眺めるのは、小学生ながらに「至福のとき」だったのかもしれない▼近年、森林保全とともに自然エネルギーが注目される中、「薪ストーブ」「木質ペレットストーブ」の利用が見直されています。京丹後市でも、両ストーブの設置費用を補助する事業があり、補助金の申請者を募集しています▼私は、自然エネルギーの重要性を考えるとともに、20年経っても鮮明に思い出す、あの「至福のとき」を求め、「いつかは設置を」と思っています。/遼

## 人口・世帯数

|                   |               |
|-------------------|---------------|
| 男                 | 29,005人 (-8)  |
| 女                 | 31,172人 (-16) |
| 計                 | 60,177人 (-24) |
| 世帯数               | 22,495世帯(+13) |
| 10月1日現在 カッコ内は前月比。 |               |
| 住民基本台帳(外国人含む)による。 |               |

## 健康大長寿のさとづくりシンポジウム

健康寿命を伸ばそう!～生涯現役のすすめ～

日 時: 11月17日(土) 13:00～16:00  
場 所: 京都府丹後文化会館(峰山町杉谷)  
入場料: 無料